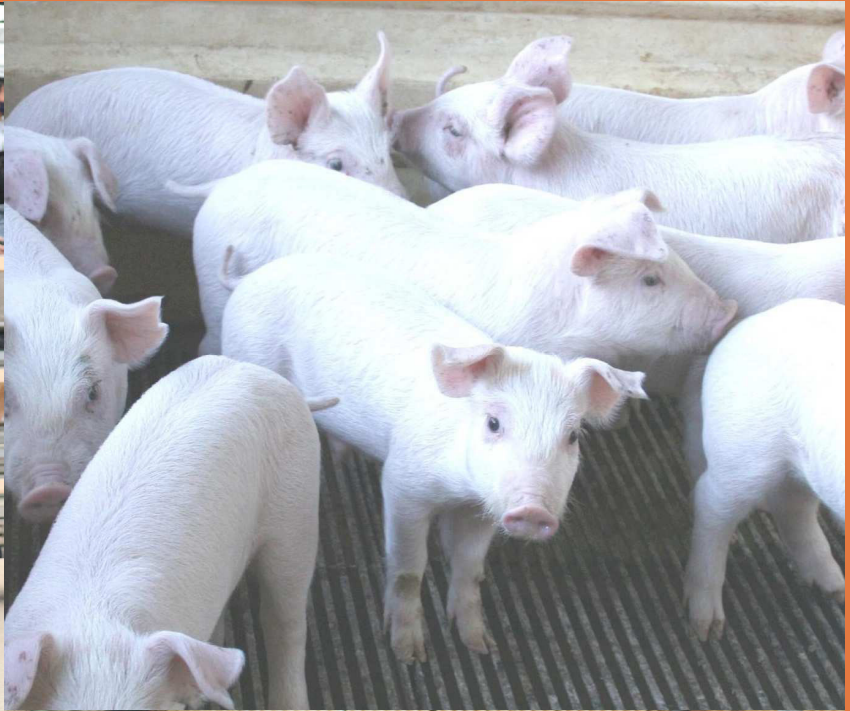


# 宮崎の畜産 2023



宮崎県農政水産部畜産新生推進局



# 第12回全国和牛能力共進会（鹿児島大会）が開催され 史上初 4大会連続の内閣総理大臣賞を受賞しました！！！！

## 1 全国和牛能力共進会とは

（公社）全国和牛登録協会が主催し、5年に1度開催される、全国の優秀な和牛を一堂に集め、改良の成果やその優秀性を競う大会。

開催規模の大きさや審査成績が各道府県のブランド確立を左右することから、和牛関係者の威信をかけた重要な大会であり、別名「和牛のオリンピック」と称される。

本県代表牛は、出品した8部門中2部門(第3区、第7区)の優等賞首席に加え、今大会から新設された第7区（脂肪の質評価群）で最高賞となる内閣総理大臣賞を受賞。

これにより本県は、第9回 鳥取大会（平成19年）以降、史上初の4大会連続で内閣総理大臣賞を受賞。通算5度の内閣総理大臣賞受賞は全国最多であり、団体賞（出品団体表彰）も第9回、第10回、第12回大会で受賞。

## 2 大会名称

第12回全国和牛能力共進会（鹿児島大会）

～開催テーマ～

「和牛新時代 地域かがやく和牛力」

## 3 開催内容

### (1) 共進会

①期間	令和4年10月6日（木）～10日（祝・月）	
	〃 10月6日（木）	開会式
	〃 10月6日（木）～9日（日）	各出品区の審査・等級決定
	〃 10月10日（祝・月）	名誉賞決定 上位入賞牛・特別賞パレード展示 閉会式

②会場 種牛の部 鹿児島県霧島市牧園町  
肉牛の部 鹿児島県南九州市知覧町(株) JA食肉かごしま南薩工場

③部門 種牛の部 6部門  
肉牛の部 2部門  
特別区（高校及び農業大学校）1部門

④頭数 全国41道府県 438頭出品予定  
（種牛の部：248頭 肉牛の部：166頭、特別区：24頭）



【第12回全共 鹿児島大会（令和4年10月）の様子】

# 目

# 次

I	農業の概要	1
II	畜産の概要	3
III	みやざき畜産共創プラン	4
IV	畜種別飼養動向	
1	肉用牛	7
2	乳用牛	11
3	豚	13
4	採卵鶏	14
5	ブロイラー	15
6～8	みやざき地頭鶏、農用馬、蜜蜂	16
V	飼料	17
VI	家畜衛生	19
VII	生産費と所得の推移（全国）	23
VIII	環境保全	24
IX	畜産金融	25
X	試験研究	27
XI	資料編	
1	県の畜産関係組織図	29
2	畜産関係団体	31
3	統計表	33
○	令和4年度の緊急対策支援	43
○	「おいしさ日本一宮崎牛」プロモーション	44
○	その他取組・イベント等	45
○	平成以降の畜産の動き	46
○	畜舎特例法に関する案内	47
○	宮崎県農業・水産業ナビ ～ひなたMAFiN～	49

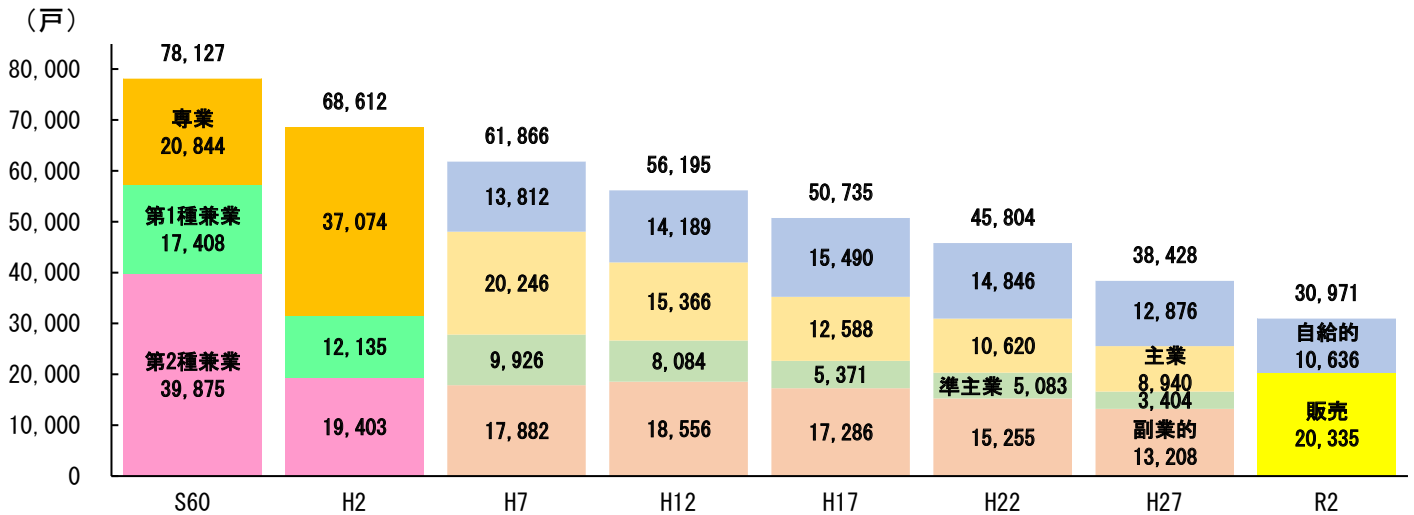


# I 農業の概要

## 1 本県農業の位置づけ

区分	単位	区分					資料
		宮崎	九州	全国	宮/九(%)	宮/全(%)	
農家総数	1,000戸	31.0	248	1,747	12.5	1.8	「2020年農林業センサス」
販売農家	1,000戸	20.3	157	1,028	12.9	2.0	〃
耕地面積	1,000ha	64.8	515	4,349	12.6	1.5	農林水産省：令和3年耕地面積
田面積	1,000ha	34.6	302	2,366	11.5	1.5	〃
畑面積	1,000ha	30.1	214	1,983	14.1	1.5	〃
農業産出額	億円	3,478	17,905	88,600	19.4	3.9	農林水産省：令和3年農業産出額及び
生産農業所得	億円	1,317	7,153	33,653	18.4	3.9	生産農業所得統計

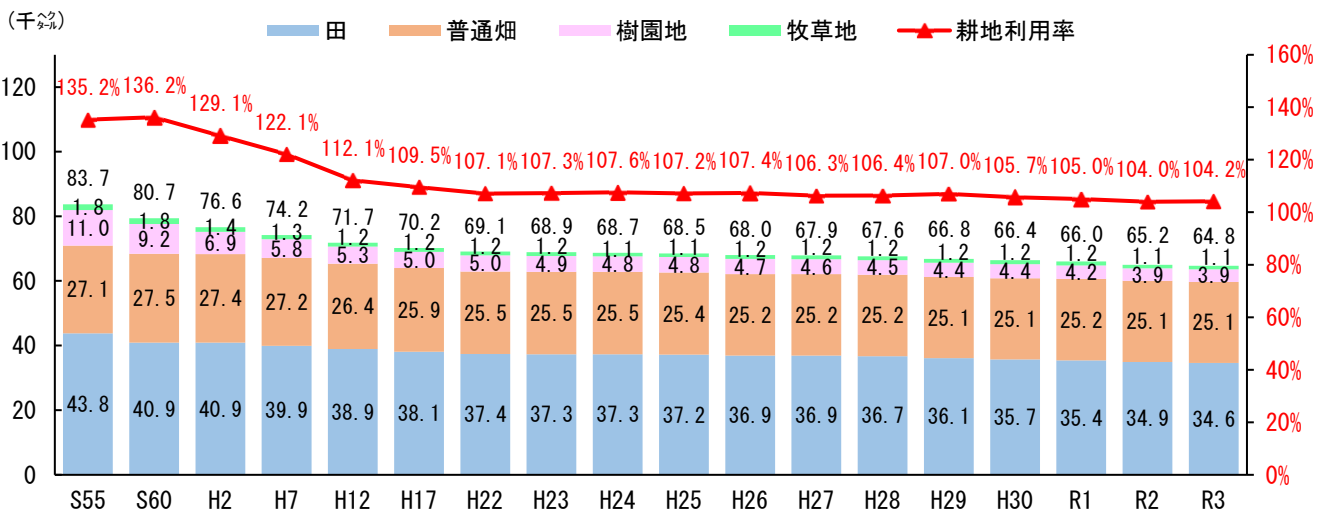
## 2 農家戸数



※「自給的農家」とは、経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家、  
 「販売農家」とは、経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。  
 ※「主業農家」とは、農業所得が主（所得の50%以上が農業所得）で、65歳未満の農業従事者60日以上の方がいる農家、  
 「準主業農家」とは、農外所得が主で、65歳未満の農業従事者60日以上の方がいない農家をいう。  
 「副業的農家」とは、65歳未満の農業従事者60日以上の方がいない農家をいう。  
 ※令和2年から主業農家・準主業農家・副業的農家のデータなし。

資料：「農林水産省：2020年農林業センサス」  
 「農林水産省：農業構造動向調査」

## 3 耕地面積及び耕地利用率の推移



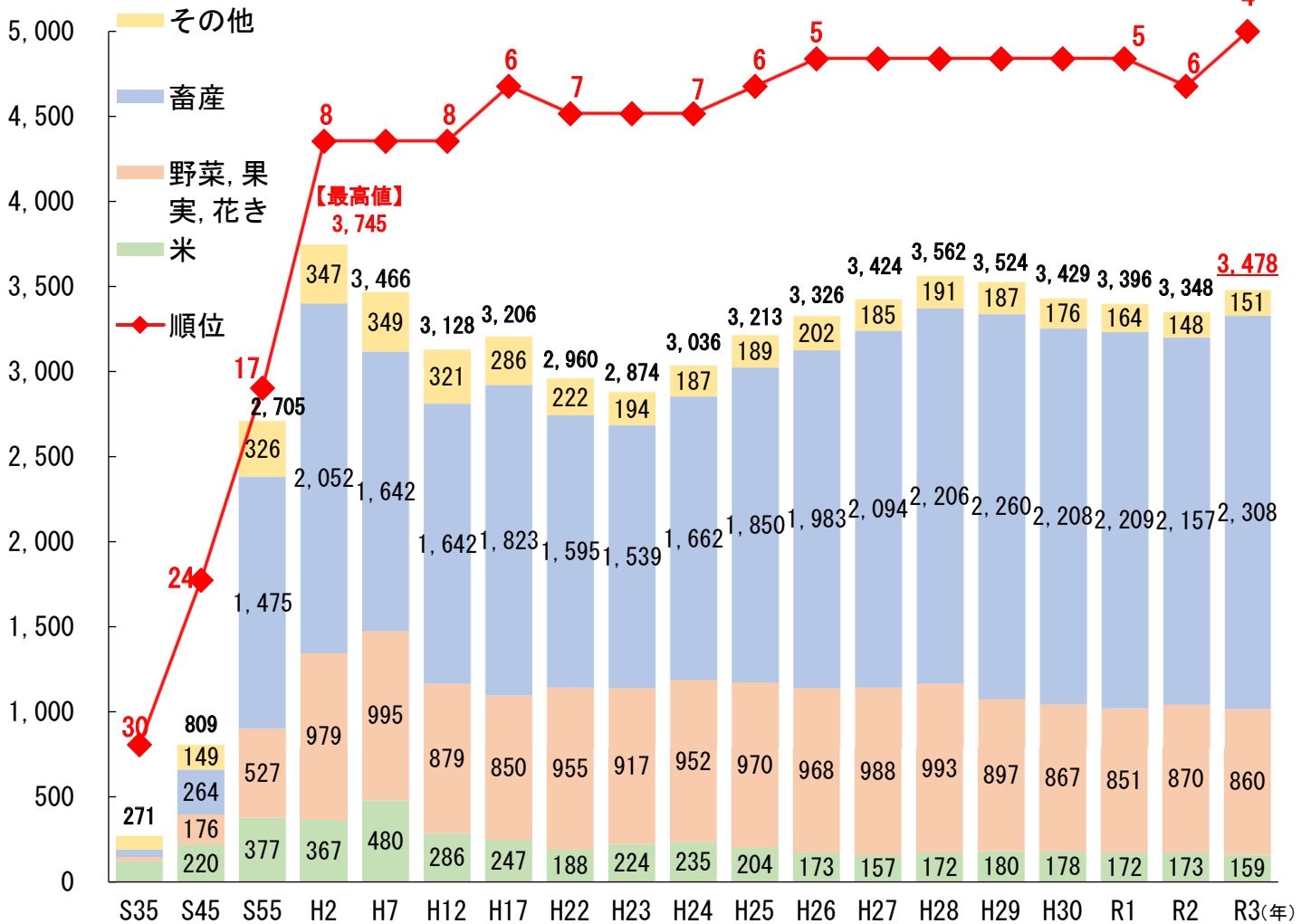
資料：「農林水産省：耕地及び作付面積統計」





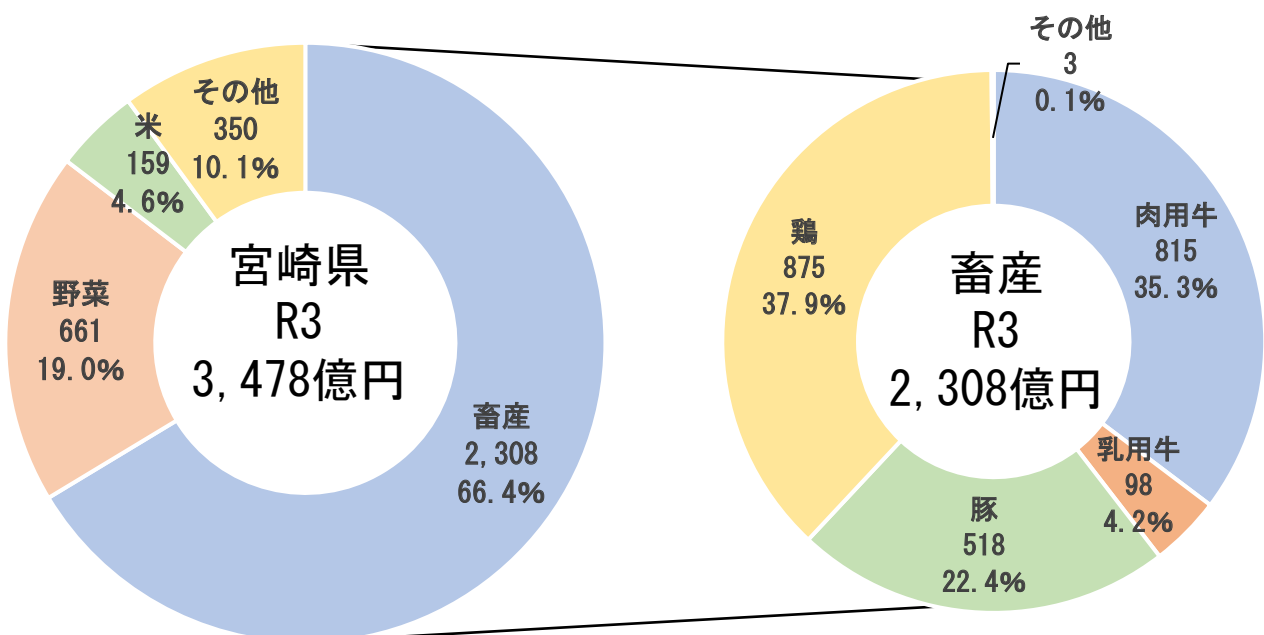
## 4 農業産出額

(億円)



資料：「農林水産省：生産農業所得統計」

## 5 宮崎県の産出額の構成



## Ⅱ 畜産の概要

### 1 全国頭羽数別の順位

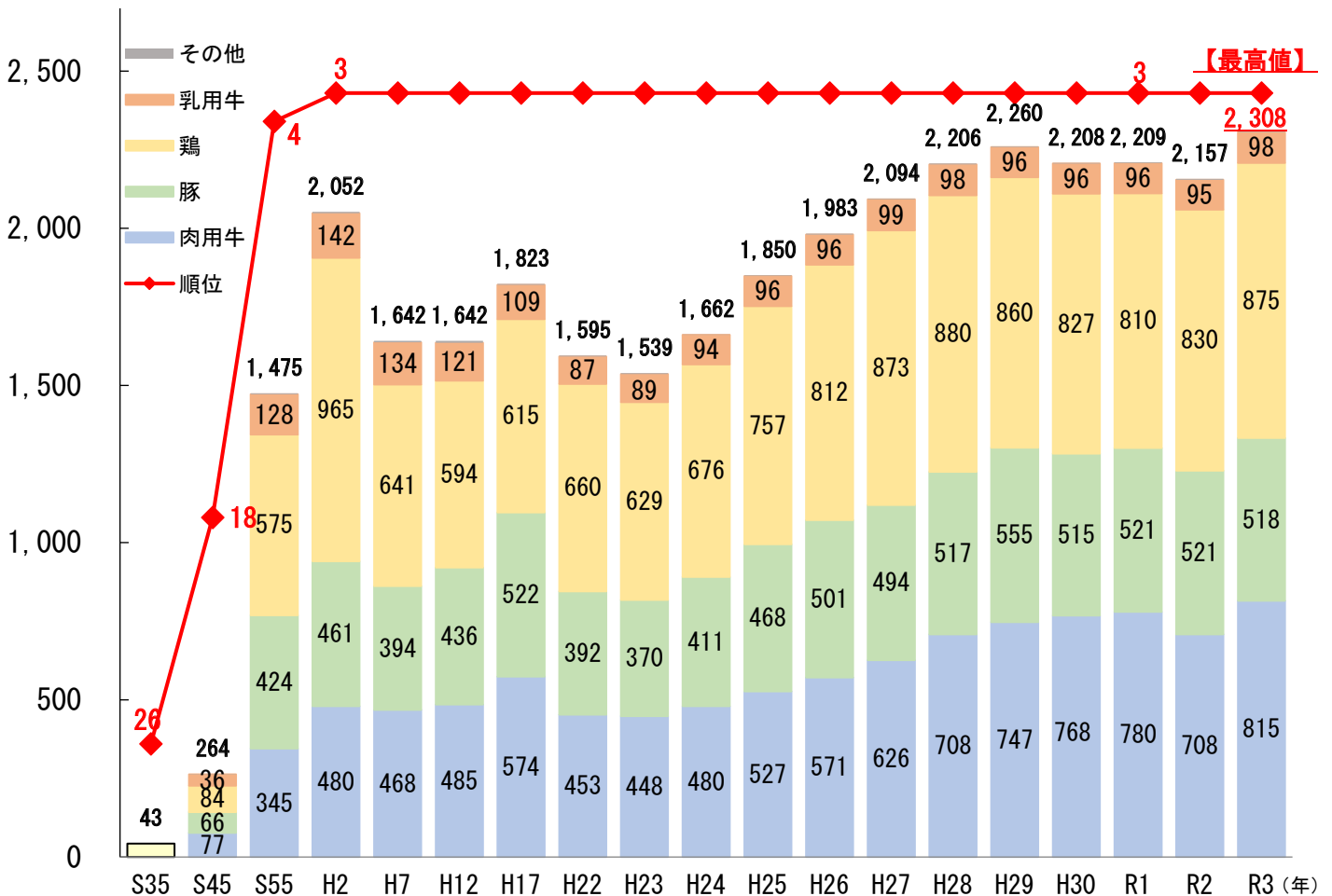
令和4年2月1日現在（単位：頭、千羽）

区分	全国	九州	都道府県別順位					備考	宮崎県/ 全国シェア
			1	2	3	4	5		
肉用牛	2,614,000	941,700	北海道 553,300	鹿児島県 337,800	宮崎県 254,500	熊本県 133,600	岩手県 89,200		9.7%
乳用牛	1,371,000	103,100	北海道 846,100	栃木県 54,800	熊本県 43,600	岩手県 40,100	群馬県 33,600	宮崎県 13,600 (13位)	1.0%
豚	8,949,000	2,800,000	鹿児島県 1,199,000	宮崎県 764,200	北海道 727,800	群馬県 604,800	千葉県 582,500		8.5%
採卵鶏 (種鶏を除く)	180,096	23,368	茨城県 15,142	千葉県 12,837	鹿児島県 11,731	広島県 9,926	愛知県 9,750	宮崎県 2,768 (22位)	1.5%
ブロイラー	139,230	70,026	鹿児島県 28,090	宮崎県 27,599	岩手県 21,095	青森県 8,058	北海道 5,180		19.8%

資料：「農林水産省：畜産統計」

### 2 畜産産出額の推移

(億円)



資料：「農林水産省：生産農業所得統計」



# Ⅲ みやざき畜産共創プラン

## プラン（R3年度～R7年度）の概要

### 第八次宮崎県農業・農村振興長期計画畜産版アクションプラン

#### 【ビジョン】

『あらゆる危機事象に負けない畜産』、『賢く稼げる畜産』を畜産農家、関係機関、関連産業並びに県民の皆様と共に創造し、持続可能な魅力ある強くてしなやかな本県畜産産業の発展を目指す。

#### 畜産経営の土台となる防疫

##### 家畜防疫の強靱化

防疫力の強化

「水際防疫」・「地域防疫」・「農場防疫」・万一の発生に備えた「迅速な防疫措置」による「みやざきの家畜防疫4本柱」の重点的取組推進

防疫体制の強化

関係者との連携強化等に加え、県民総ぐるみの意識醸成を図り、家畜保健衛生所の機能強化、産業動物獣医師と県職員獣医師の確保・育成の強化等

#### 持続可能な畜産振興への取組

##### 生産力の強靱化

生産基盤の強化

規模拡大に向けた畜産クラスター計画や人・牛プランの推進、効果的な分業化・担い手・省力化対策の積極的な推進等

生産性の向上

事故率低減や省力化等による所得向上に向けたスマート畜産技術の積極的な活用、飼養環境の改善、衛生管理技術の向上等

新技術の普及促進

スマート畜産技術の実装に向けた積極的な導入、試験研究分野と普及分野の連携強化による新技術の推進及び情報発信の強化等

##### 人材力の強靱化

担い手確保

新規就農しやすい環境作り、中心的経営体の規模拡大支援と併せて経営管理能力の優れた経営者の育成、農業大学校における畜産業への定着支援等

働き方改革

定休型ヘルパー組織の体制整備支援、各畜種における分業体制の構築及び推進等

指導者確保

より高いレベルの指導ができる畜産マスターのスキルアップと若手指導者の育成、地域コンサル体制の強化、関係機関一体となった地域ぐるみの担い手育成の強化等

##### 地域資源循環の強化

飼料自給率の向上

人・農地プランの活用等による飼料作付面積の拡大、自給飼料の広域流通、コントラクターの育成やTMRセンター整備の推進等

脱炭素社会を目指した畜産バイオマスエネルギーの利活用と資源循環の推進

脱炭素社会を目指した畜産バイオマスエネルギーの利活用や良質堆肥生産及び耕畜連携による利用拡大の推進等

#### 販売・関連産業の発展に向けた取組

##### 販売力の強靱化

販売戦略

変化する社会情勢と多様化する消費者ニーズ等に対応するため、関係者一体となって付加価値等の向上を目的とした販売戦略を再構築し、積極的な販売活動の推進等

輸出拡大

国が策定した輸出戦略に同調し、成長分野として積極的な戦略を構築し、関係者との連携を更に充実しながら輸出拡大を推進等

関連産業の成長促進

畜産を支える関連産業との連携を十分に図り、情報共有に努めるとともに新たな食肉・食鳥処理場の整備支援、マーケットインを重視した食肉のおいしさの研究推進等

## 指標の目標値

### ● 持続可能な畜産振興への取組

(1) 生産力の強靱化					
中項目	分類	小項目	現状値 (R1年度)	目標値 (R7年度)	
①生産基盤の強化	肉用牛	繁殖雌牛頭数	82,900頭	91,000頭	
	肉用牛	子牛取引頭数	66,600頭	73,400頭	
	肉用牛	肉用牛拠点施設整備数	35か所	38か所	
	乳用牛	生乳生産量	77,542t	82,000t	
	乳用牛	育成預託牛頭数 (酪農公社)	650頭	700頭	
	豚	肉豚出荷頭数	1,380千頭	1,460千頭	
	鶏	ブロイラー出荷羽数	136,597千羽	142,500千羽	
	鶏	鶏卵生産量	56,876t	61,500t	
	鶏	みやざき地頭鶏出荷羽数	431千羽	580千羽	
②生産性の向上	肉用繁殖牛	分娩間隔410日以上繁殖雌牛頭数割合	32.5%	22.5%	
	肉用肥育牛	出荷月齢	29.5ヶ月	27.0ヶ月	
	乳用牛	1頭当たり年間乳量 (牛群検定305日乳量)	9,512kg	10,000kg	
	豚	母豚1頭当たり年間出荷頭数	18.8頭 (21.2頭)	23.0頭 (25.0頭) ※1	
	鶏	ブロイラーの生産率 (回転)	4.84回転	5.0回転	
	鶏	みやざき地頭鶏の育成率	80.5%	91.0%	
③新技術の普及促進	全畜種	スマート畜産導入戸数	1,167戸	2,000戸	
	全畜種	普及成果数	9件	35件	
(2) 人材力の強靱化					
中項目	分類	小項目	現状値 (R1年度)	目標値 (R7年度)	
①担い手確保	人材	新規就農者数 (畜産部門)	137人/年次	160人/年次	
	人材	畜産クラスター事業の取組主体数	214主体	400主体	
	人材	畜産技術・経営分析システム (産地分析) 参加農家数	779件	1,000件	
	人材	農業大学校 (畜産分野) の就農及び農業関係就職率	96% (77%)	100% (80%) ※2	
②働き方改革	人材	定休型ヘルパー組織数	3組織	9組織	
③指導者確保	人材	畜産マスター延べ数	60人	110人	
(3) 地域資源循環の強化					
中項目	分類	小項目	現状値 (R1年度)	目標値 (R7年度)	
①飼料自給率の向上	自給飼料	飼料作付面積 (WCS、飼料用米含む)	33,600ha	35,000ha	
	自給飼料	販売型コントラクター数	15組織	20組織	
	自給飼料	コントラクターの作業面積	4,118ha	5,250ha	
	未利用資源	放牧面積	231ha	270ha	
②脱炭素社会を目指した畜産バイオマスエネルギーの利活用と資源循環の推進	バイオマス	畜産バイオマス発電施設数	4施設	7施設	
	資源循環	堆肥の広域流通量 (県外・農外販売)	4,081t	8,000t	

### ● 販売・関連産業の発展に向けた取組

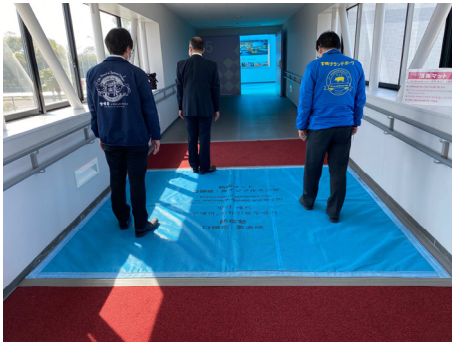
(1) 販売力の強靱化					
中項目	分類	小項目	現状値 (R1年度)	目標値 (R7年度)	
①販売戦略	牛肉	宮崎牛指定店数	548店舗	600店舗	
	豚肉	宮崎ブランドポーク指定店数	227店舗	250店舗	
	みやざき地頭鶏	みやざき地頭鶏指定店数	210店舗	230店舗	
②輸出拡大	牛肉・豚肉・鶏肉・鶏卵	畜産物輸出額	44億円(1,430t)	66億円(3,850t)※3	
③関連産業の成長促進	製造	畜産物製造業出荷額	2,456億円 (H30)	3,000億円 (R6)	
	製造	新たな食肉・食鳥処理施設の整備数	-	2カ所	
	製造	県内と畜場におけると畜頭数	1,092千頭	1,139千頭	

※1: ( ) は、クラスター事業活用農場平均、※2: ( ) は、卒時就職率、※3: ( ) は、輸出量



# みやぎの家畜防疫対策の4本柱

## 1 水際防疫



空港での靴底消毒マット設置



宮崎空港での検疫探知犬配備に伴うセレモニー

## 2 地域防疫



市町村自衛防疫推進協議会による地域の巡回消毒活動



地域での防疫演習(消毒作業訓練)

## 3 農場防疫



農場における飼養衛生管理基準の遵守状況確認



鳥インフルエンザ発生予防のための養鶏農家への消石灰配布

## 4 迅速な防疫措置



家畜伝染病発生を想定した机上防疫演習



畜産試験場を活用した家畜防疫実働演習

# IV 畜種別飼養動向



## 1 肉用牛

○本県を代表するブランドの「宮崎牛」は、令和4年10月に鹿児島県で開催された「第12回全国和牛能力共進会」で、史上初となる4大会連続の内閣総理大臣賞を受賞。

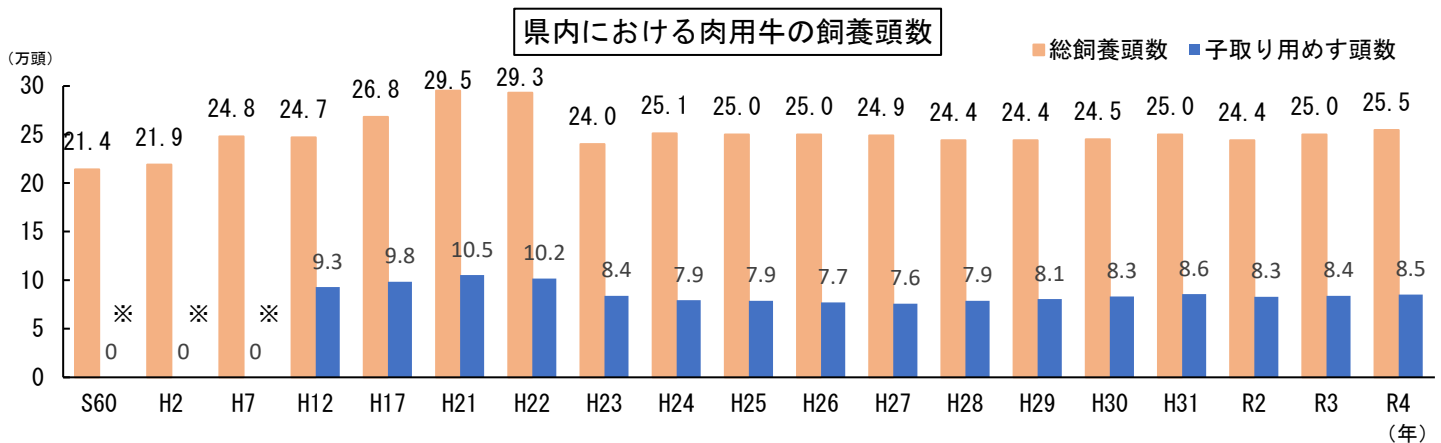
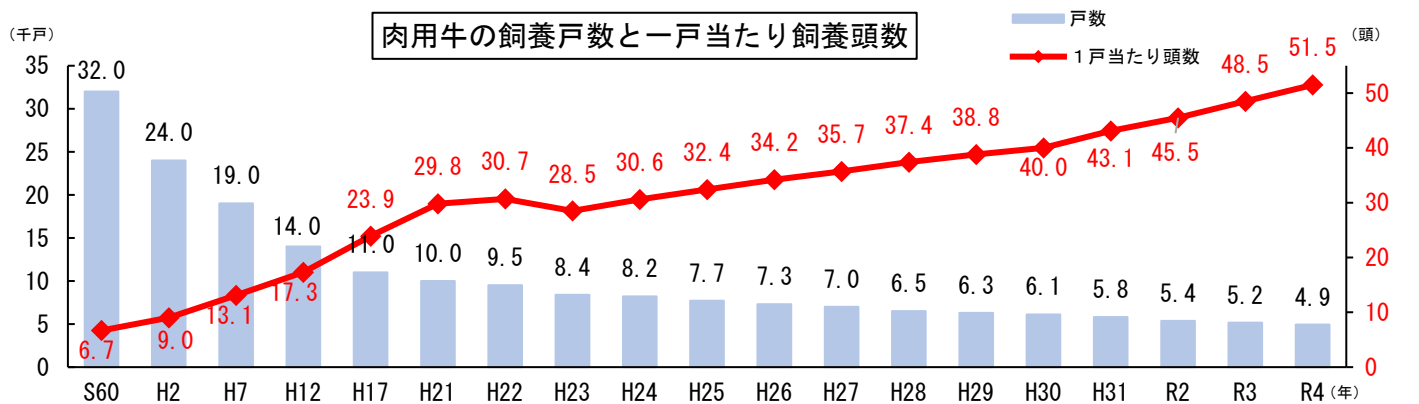
○令和3年の産出額は815億円（対前年比115.1%）で、県全体の約23.4%を占めている。

○肉用牛の飼養頭数は、平成22年に発生した口蹄疫の影響等により、平成23年は減少したものの、翌年には増加に転じ、その後はほぼ横ばいで推移し、令和4年2月1日現在の飼養頭数は、254,500頭と全国3位となっている。

○口蹄疫で66,869頭の肉用牛が殺処分され、肉用牛産業に甚大な影響を与えたことから、畜産の新生に向け、人・牛プランに掲げた担い手の育成や分業化システムの構築等、生産基盤の強化を図るとともに、PR活動の展開による「宮崎牛」の一層の銘柄確立に努めている。

### (1) 肉用牛の飼養状況

#### 戸数と頭数の推移



※ 事実不詳又は調査を欠くものためデータなし

資料:「畜産統計」

注) 飼養頭数については、令和2年から調査方法が変更になったため、以前の数値とは連動しない。

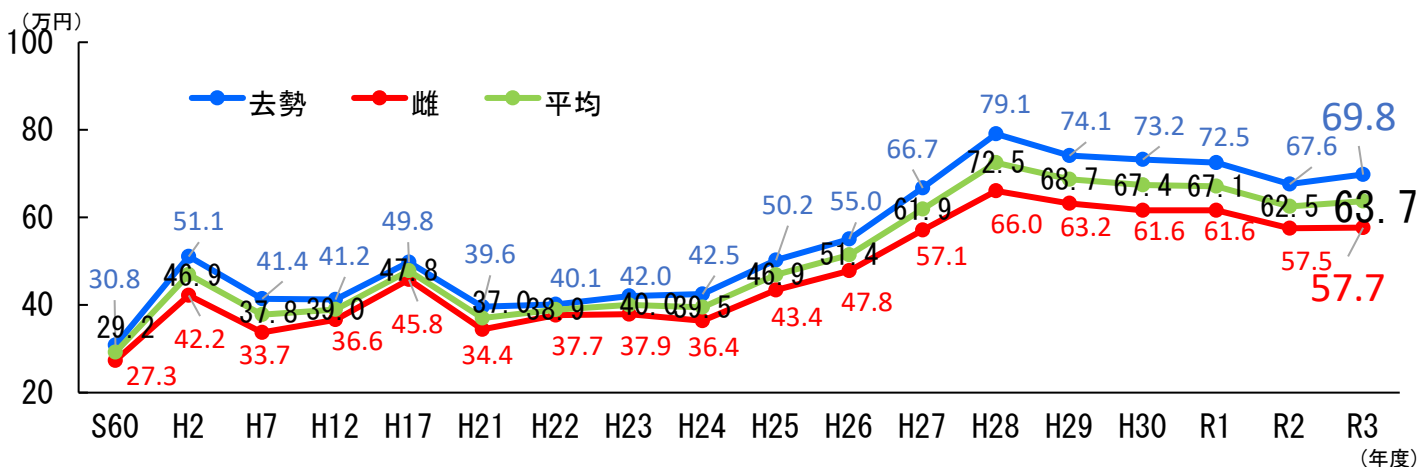
注) H31, R1の標記については参考としている数字の時期により標記が異なる



## (2) 肉用子牛の出荷状況

### ①価格の推移（消費税抜き）

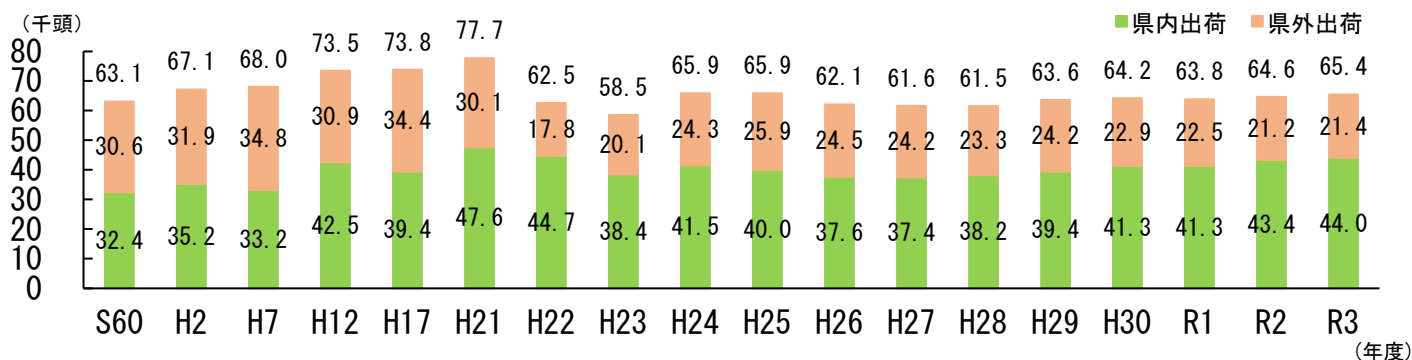
肉用子牛の価格は、平成25年度に上昇に転じ、平成28年度には過去最高水準に達した。平成29年度以降はほぼ横ばいでの推移となっている。



資料：「県畜産振興課調」「宮崎県畜産協会調」

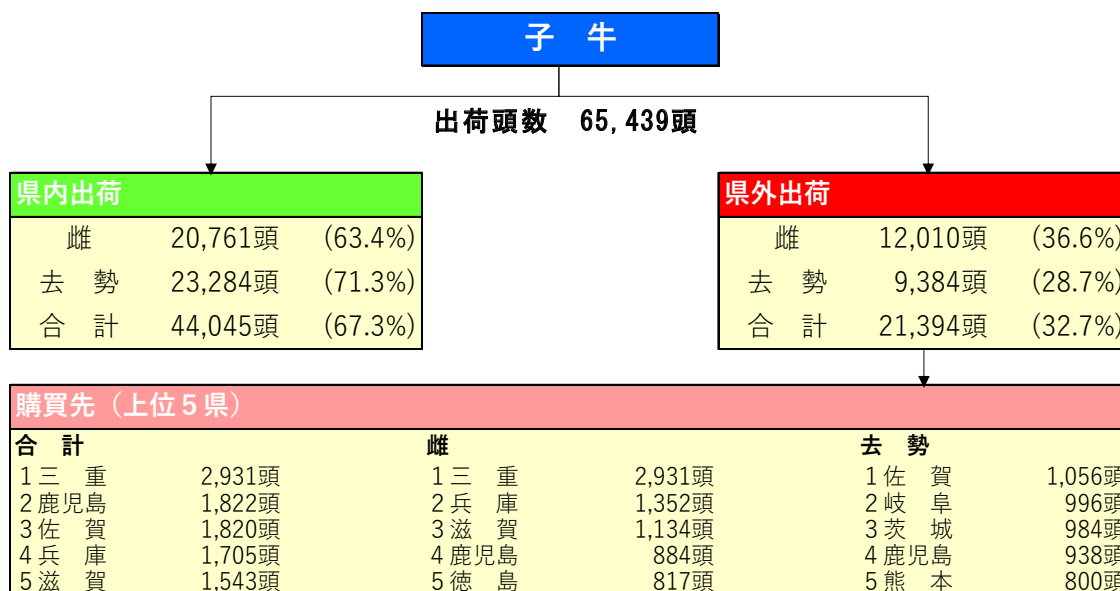
### ②出荷の推移

肉用子牛の出荷頭数は、平成22年に発生した口蹄疫により激減したが、平成24年度以降は6万頭台で推移している。平成28年度以降、国庫事業をはじめとした増頭対策により増加した繁殖雌牛の飼養頭数に連動し、安定した推移となっている。



資料：「県畜産振興課調」「宮崎県畜産協会調」

### ③流通状況（令和3年度）

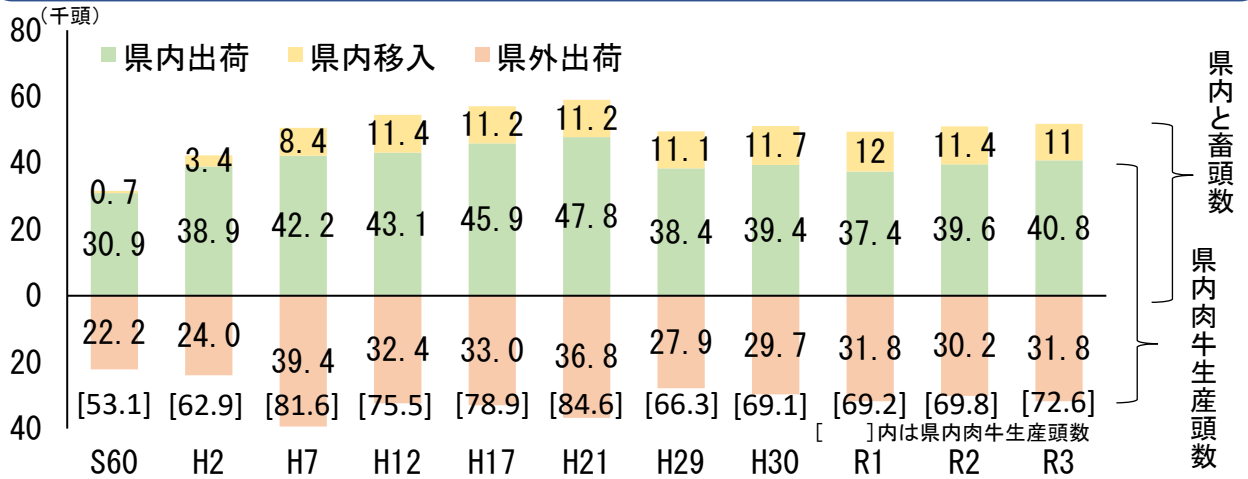


資料：「県畜産振興課調」「宮崎県畜産協会調」

### (3) 肉牛の出荷状況

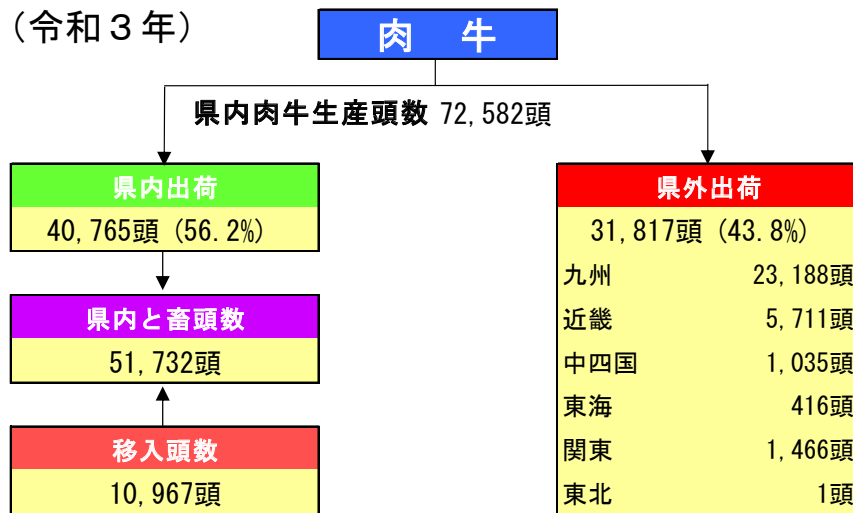
#### ①頭数の推移

県内における肉用牛の出荷頭数は、平成29年以降増加傾向で推移している。  
 県内への出荷頭数は約6割であり、県外からの移入頭数は1万～1万2千頭で推移している。



※ H22～H28年は調査休止のためデータなし 資料：「畜産物流通統計」

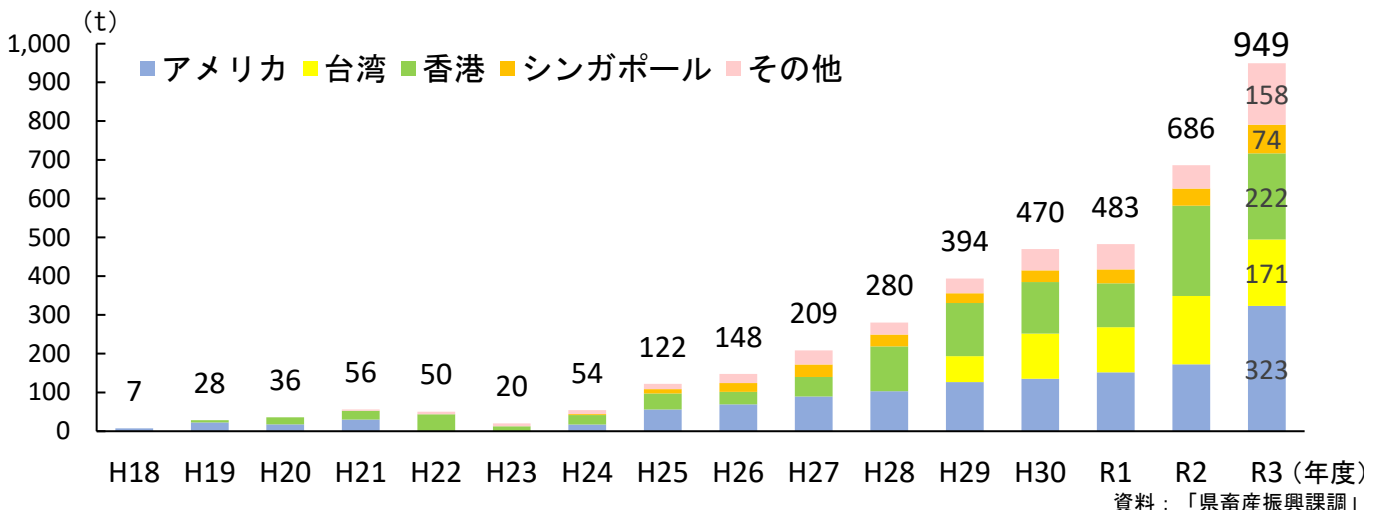
#### ②流通状況 (令和3年)



資料：「畜産物流通統計」

#### ③宮崎県産牛肉輸出量の推移

県産牛肉の輸出は平成2年度に始まり、BSEや口蹄疫発生により輸出量は一時的に落ち込んだものの平成24年度以降順調に伸び、令和3年度には過去最高の949tを記録した。

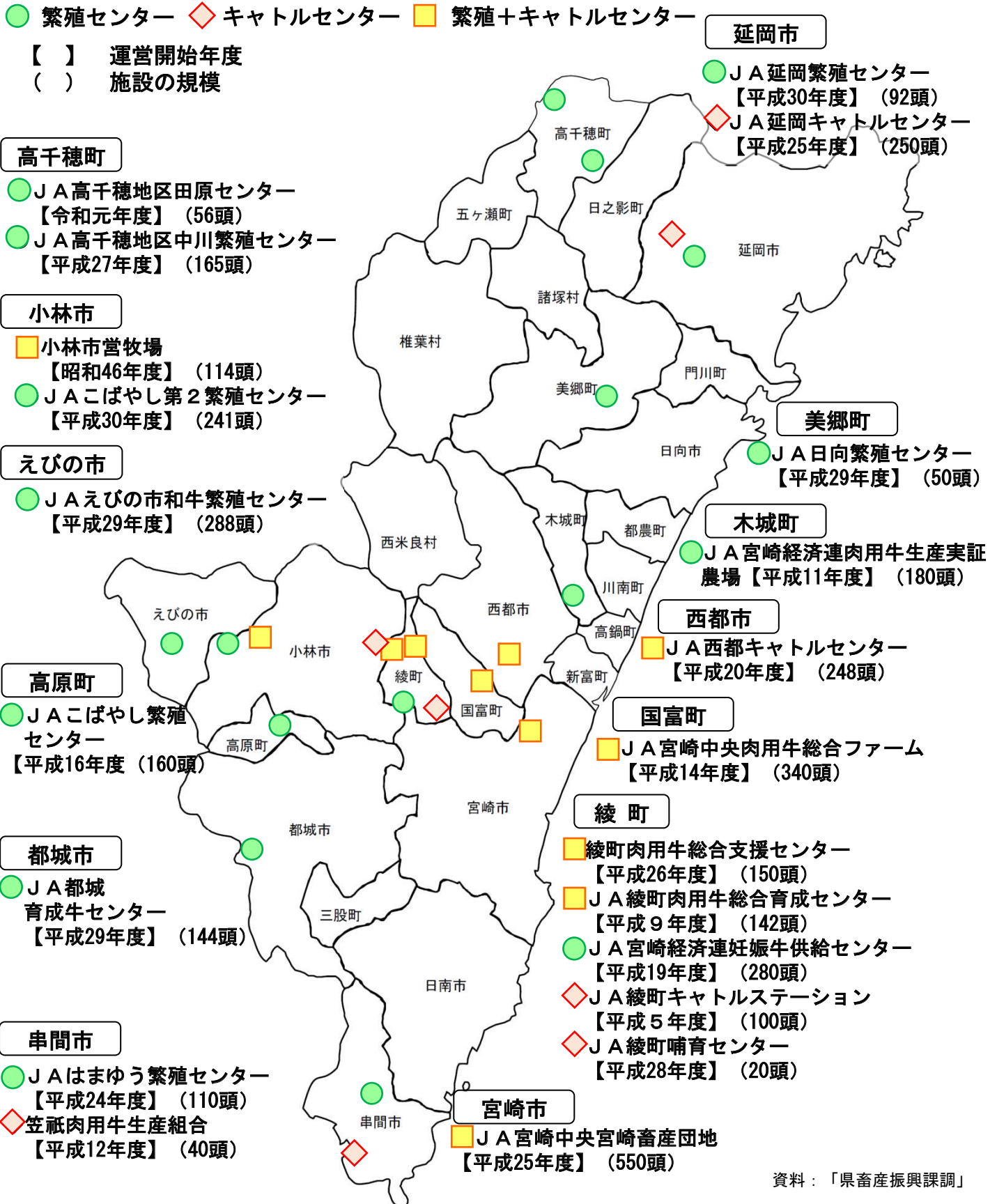


資料：「県畜産振興課調」

## (4) 肉用牛の生産基盤強化に関する取組について

肉用牛生産者の規模拡大や肉用牛生産に係る作業の分業化・省力化を推進するため、妊娠牛や子牛を供給する繁殖センターの整備や、セリまでの子牛育成を担うキャトルセンターやキャトルブリーディングセンターの整備を県内一円で展開。

県全域 21か所（繁殖・育成牛2,037頭、不妊牛298頭、キャトル1,408頭）※R5年1月時点



資料：「県畜産振興課調」



## 2 乳用牛

○本県の酪農は、土地利用型農業の重要品目として発展してきたが、乳価低迷等による経営転換や飼養者の高齢化・後継者不足等により飼養戸数及び飼養頭数は減少傾向にあり、令和3年の産出額は98億円（対前年比103.2%）で、県全体の2.8%を占めている。

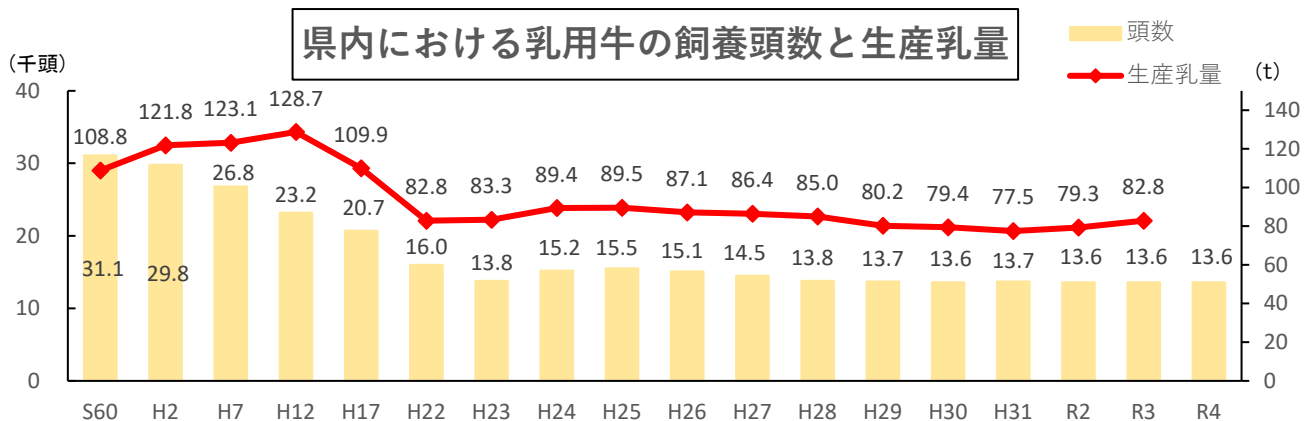
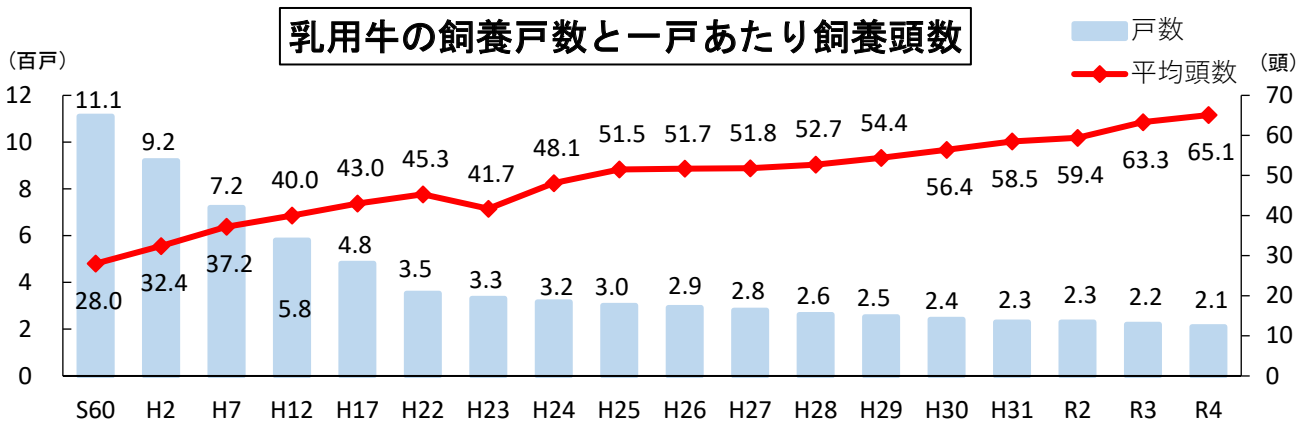
○平成24年以降は戸数の減少に比べ、頭数の減少は緩やかで、一戸当たりの平均飼養頭数が伸びており、規模拡大が進んでいる。

○令和3年の生乳生産量は、8万2,844トン（対前年比104.5%）となっている。

○酪農を担う新たな担い手等の育成を図るとともに、後継牛の確保と導入コストの削減のための育成牛預託等による分業化や省力化のための搾乳ロボット等の導入を進め、生産基盤の強化・生産性向上を図っていく。

### （1）乳用牛の飼養状況

#### 戸数と頭数の推移



※ 飼養頭数について、令和2年から調査方法が変更になったため、以前の数値とは連動しない。

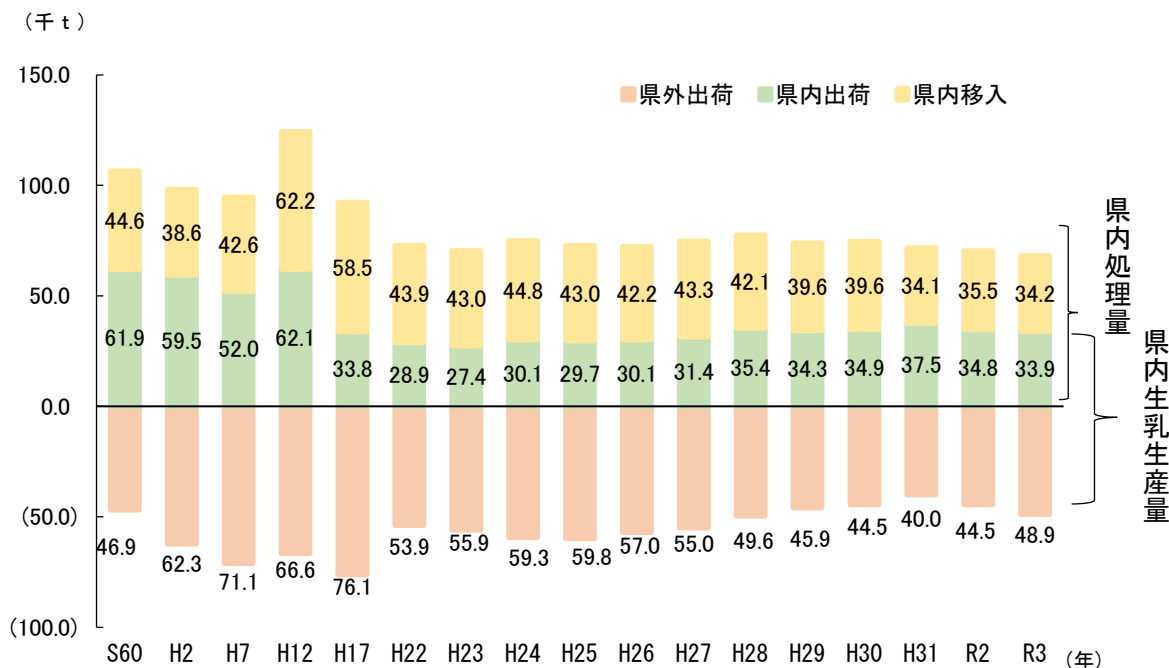
注)H31, R1の標記については参考としている数字の時期により標記が異なる

資料：「畜産統計」  
「牛乳・乳製品統計」

## (2) 生乳の出荷状況

### ① 出荷の推移

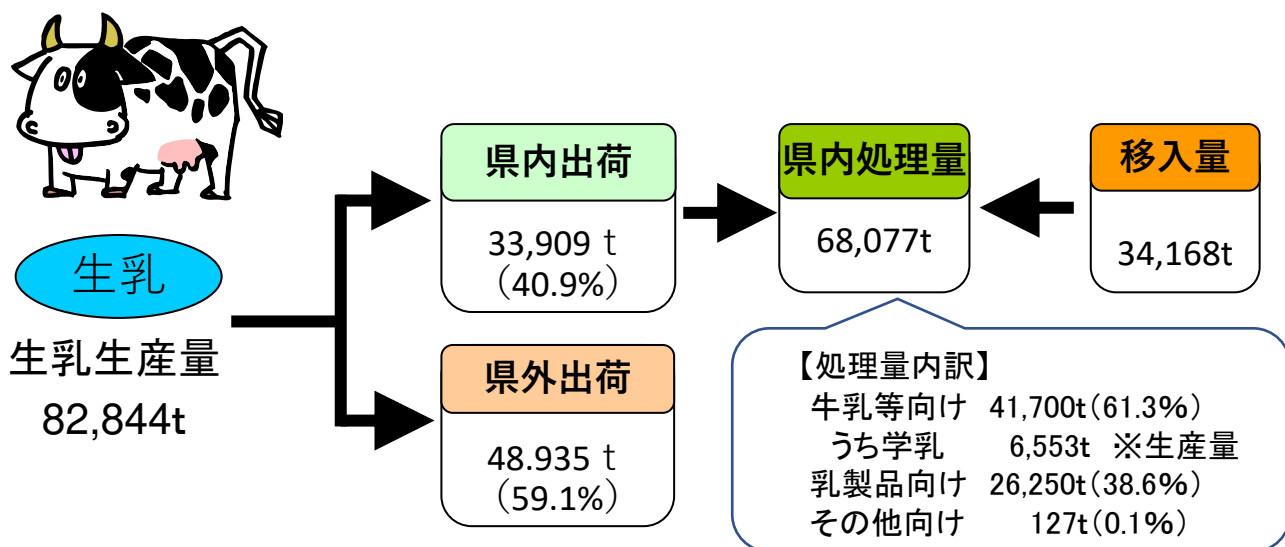
生乳の出荷量は、平成12年をピークに減少傾向にある。県内処理量は県内産と県外から移入してきた分を合わせて、6万t台の処理量となり、ほぼ横ばいの状況となっている。



資料：「牛乳・乳製品統計」

### ② 流通状況（令和3年）

県内で生産された生乳の59%は県外に出荷され、県内で処理される生乳の61%が牛乳等向けとなっている。



資料：「牛乳・乳製品統計」

### 3 豚

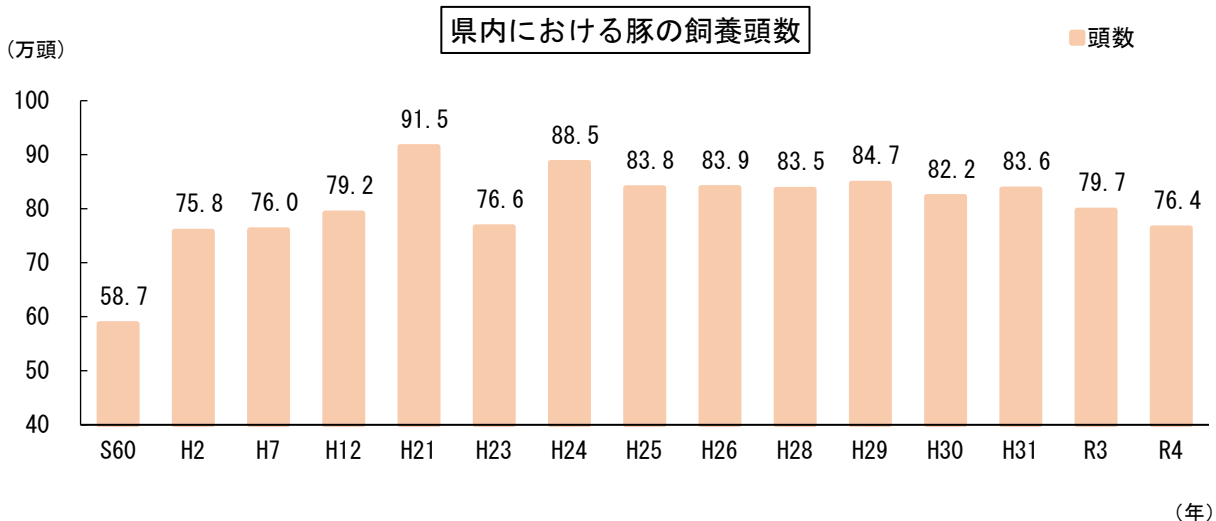
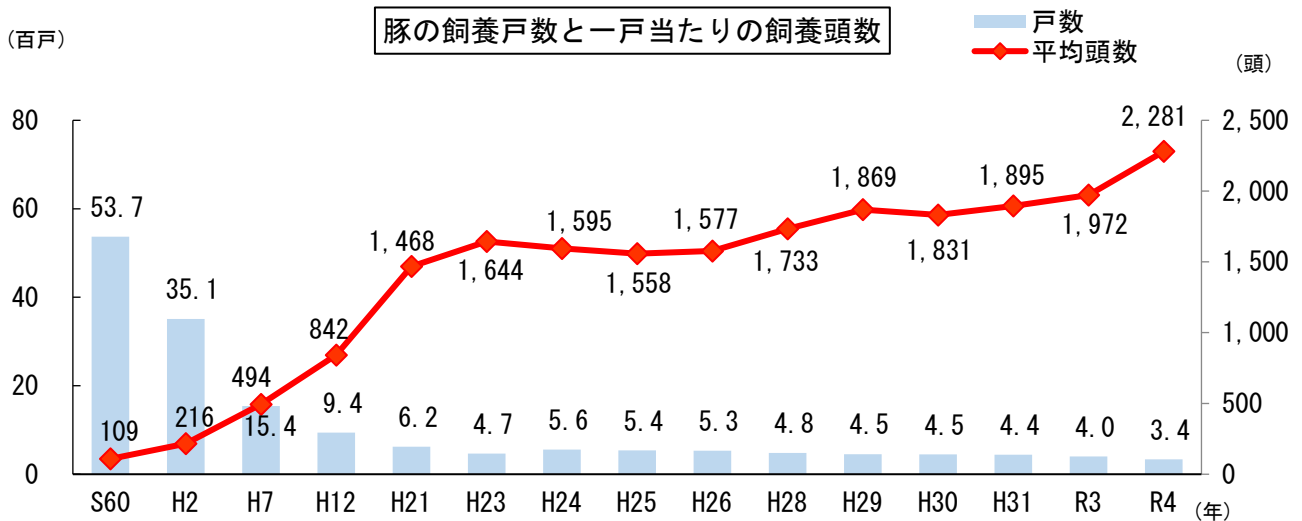
○本県の養豚は、農家戸数は減少傾向にあるものの、飼養頭数は全国2位を維持しており、1戸当たりの飼養頭数が2,000頭を超え、規模拡大が進んでいる。

○規模拡大に伴い、効率的な生産体制として、地域内一貫生産体制やマルチサイト方式（繁殖・哺乳育成・肥育部門の独立）の導入等に取り組む生産者も増えてきている。

○平成22年の口蹄疫で22万7,949頭の豚が殺処分された後、平成24年には88万5,300頭まで回復したものの、近年は減少傾向であり、令和4年2月1日現在では76万4,200頭となっている。

○口蹄疫からの再生・復興・新生に向けた取組等により、令和3年の産出額は518億円（対前年比99.4%）で県全体の14.9%を占めているが、さらに生産基盤の強化や生産性の向上を進めることとしている。

#### 戸数と頭数の推移



※平成17・22・27年・令和2年は調査休止のためデータなし

資料：「畜産統計」



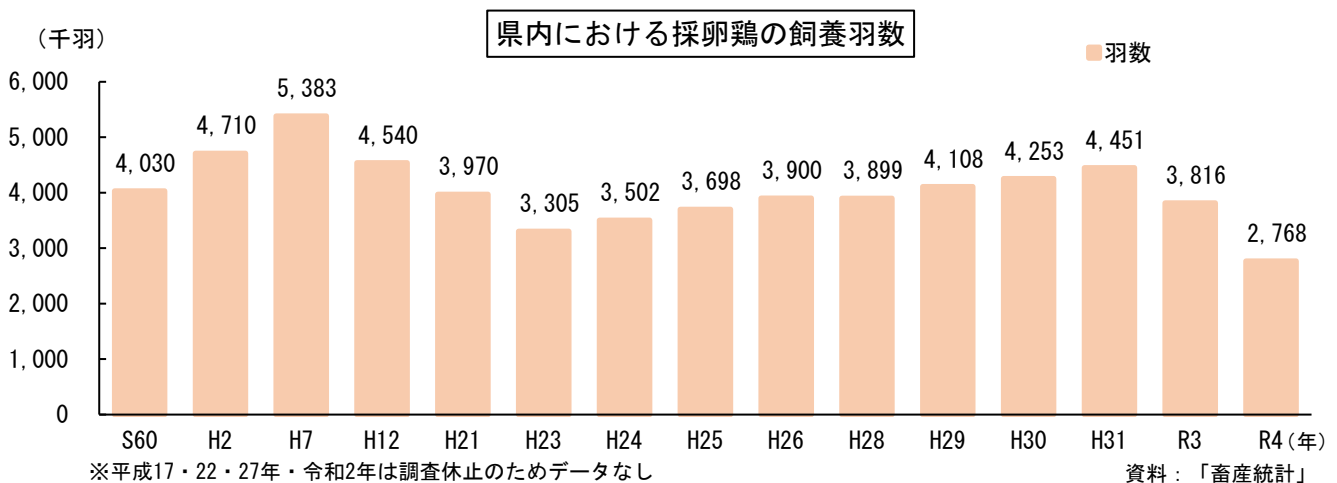
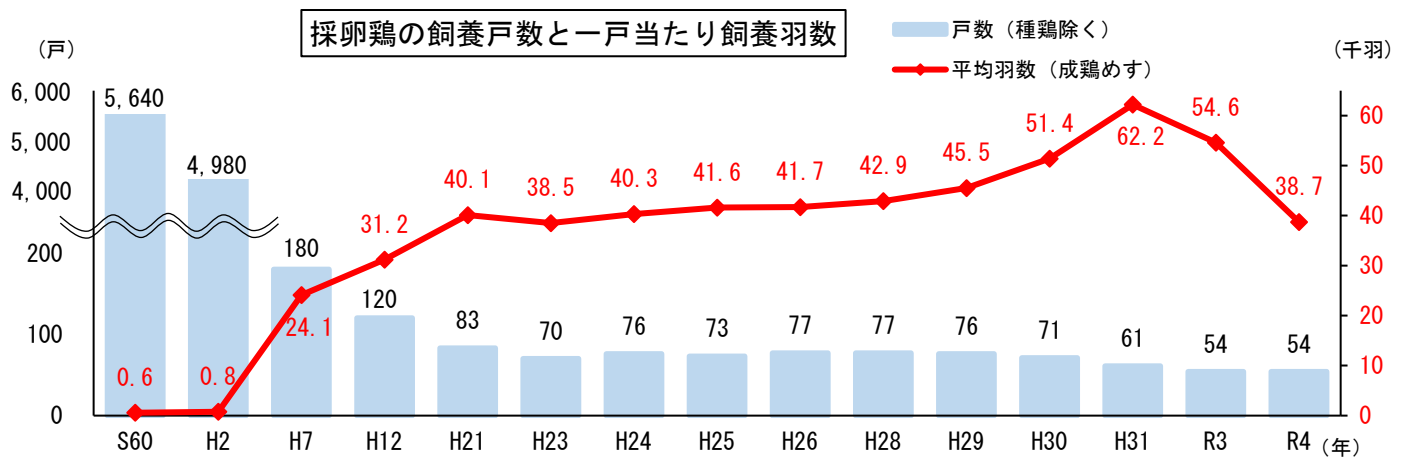
## 4 採卵鶏

○本県の鶏卵は、GPセンター（鶏卵を洗浄、選別、包装する施設）を核とした企業の経営による規模拡大が進み、1戸当たりの飼養羽数は約3万9千羽となっている。

○令和3年の鶏卵の産出額は約106億円（対前年比109%）で、県全体の3.0%を占めている。

○鶏卵は栄養豊富な食品で、価格的にも物価の優等生といわれるなど、国民の食生活に深く根ざしているが、より一層の安全・安心を確保する観点から高度GPセンターの整備が進められている。

### 戸数と羽数の推移



## 5 ブロイラー

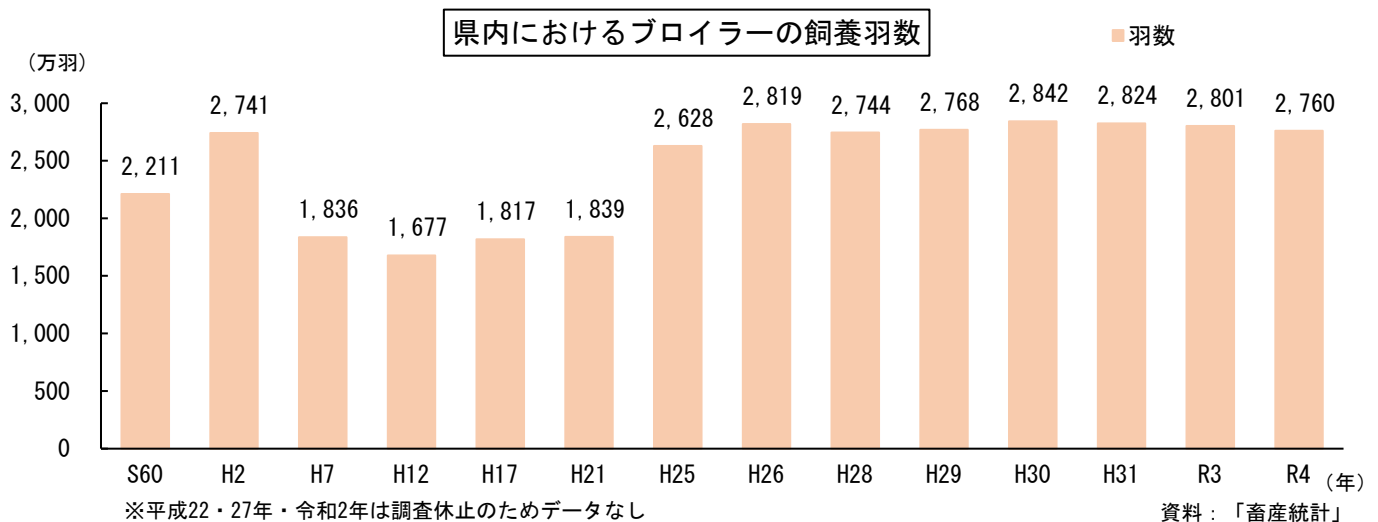
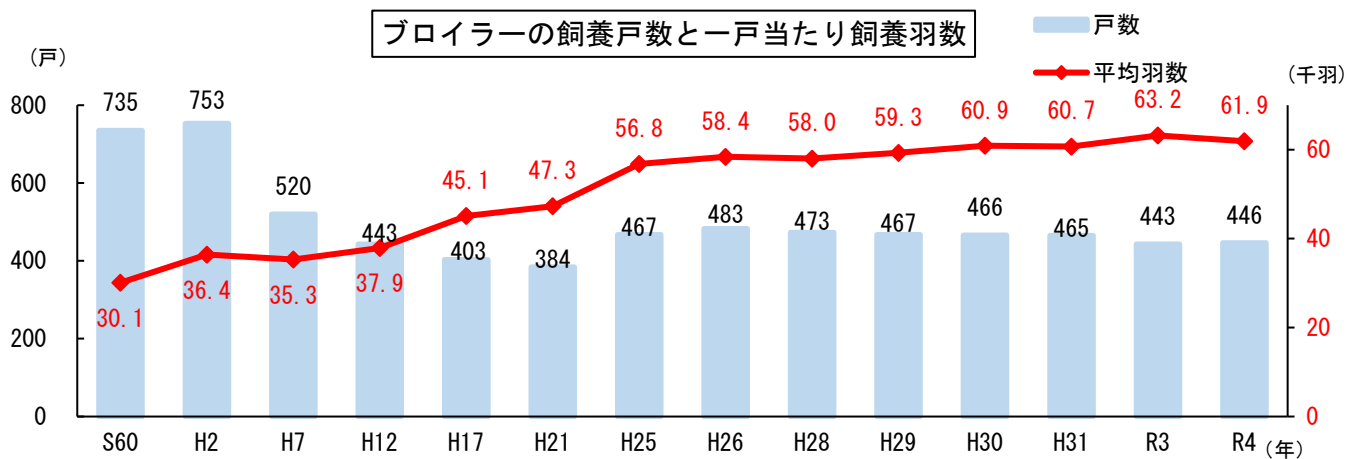
○本県のブロイラーは、生産・流通に関わる様々な部門を統合した大規模生産・流通システムであるインテグレーション形態を背景に、飼養羽数は年々増加しており、1戸当たりの規模拡大が進んでいる。

○飼養戸数の減少は他の畜種に比べて緩やかに推移している。

○令和3年の産出額は739億円（対前年比105.6%）で、県全体の21.2%を占めている。

○令和4年の本県出荷羽数は1億3,982万羽であり、宮崎、鹿児島、岩手の3県で全国の55.7%を占めている。

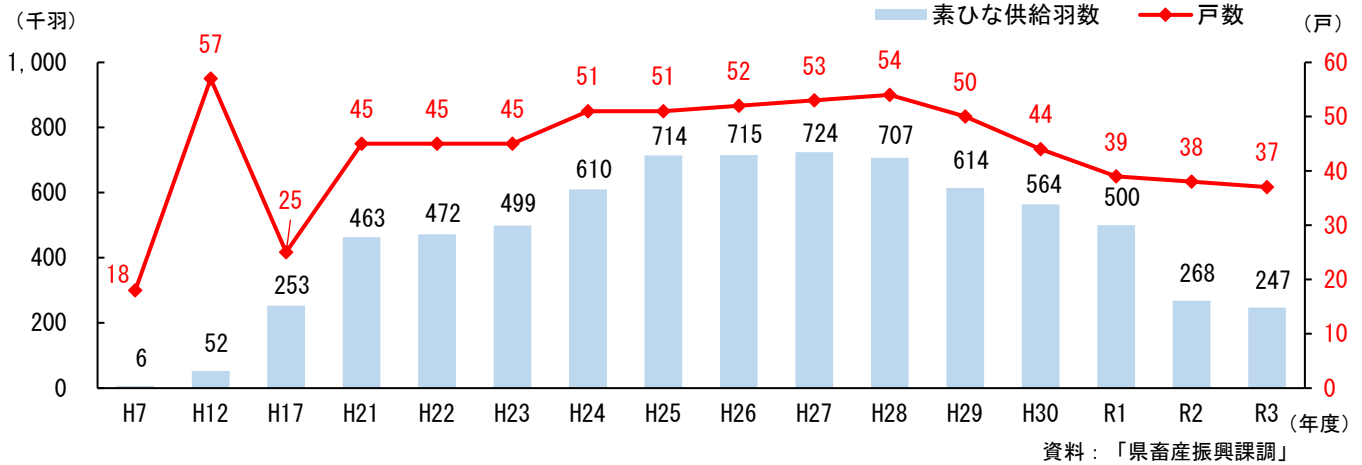
### 戸数と羽数の推移



## 6 みやざき地頭鶏

### 素ひな供給羽数の推移

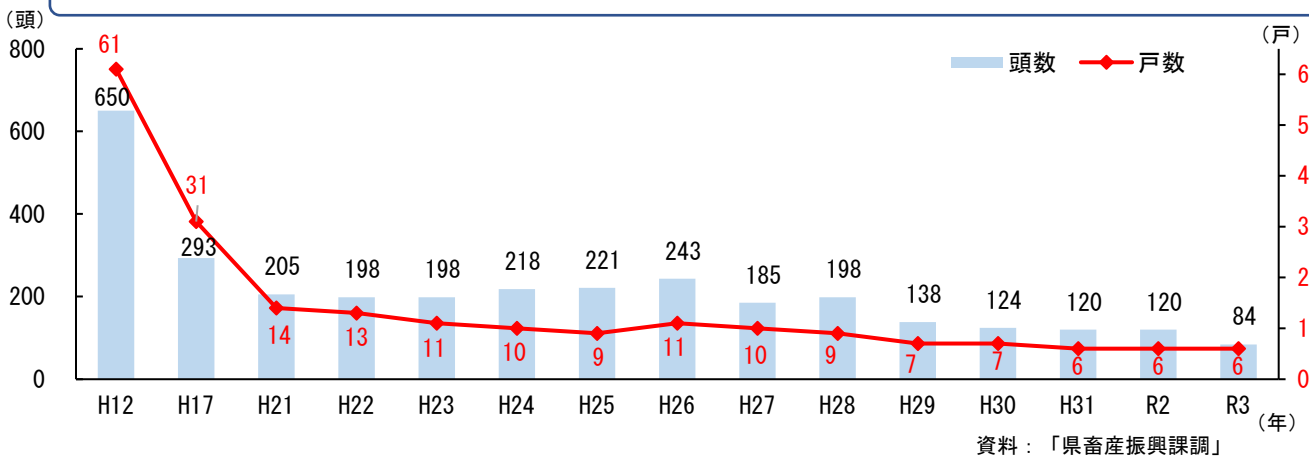
平成2年度からみやざき地頭鶏の素ひな供給が開始され、供給羽数は平成17年度から大きく増加し、平成25年度からは70万羽を超えて推移してきた。しかし、平成28年度から減少し、令和3年度はコロナ禍の影響を受け、25万羽の供給であった。



## 7 農用馬

### 飼養状況の推移

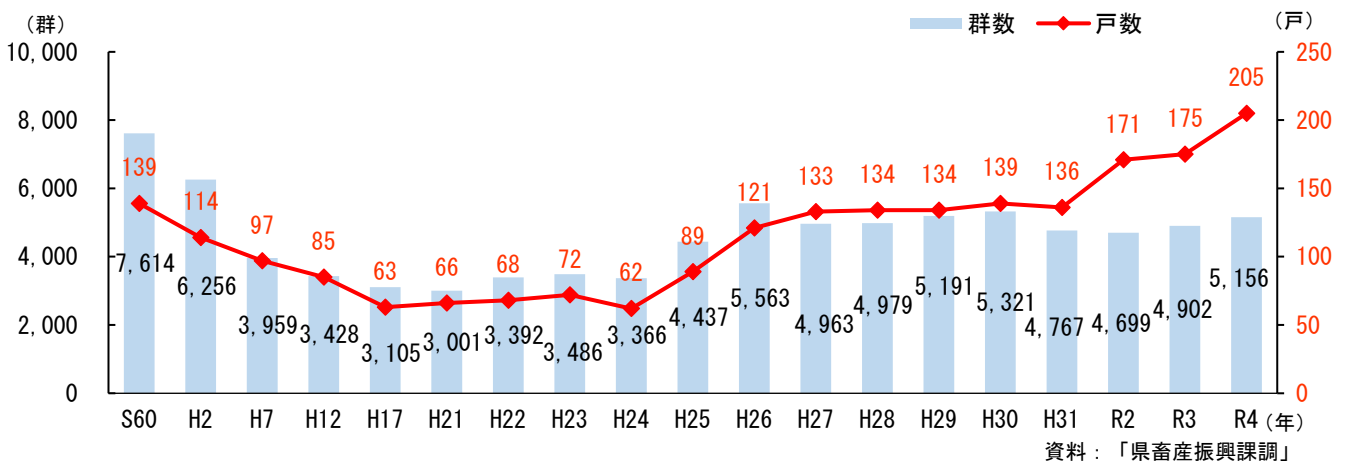
飼養頭数及び戸数がやや減少傾向で、令和3年では、6戸で84頭が飼育されている。



## 8 蜜蜂

### 戸数と群数の推移

平成25年の養蜂振興法の改正により、趣味飼育者からも飼育届が提出されることになり、戸数は増加したが群数は横ばいである。



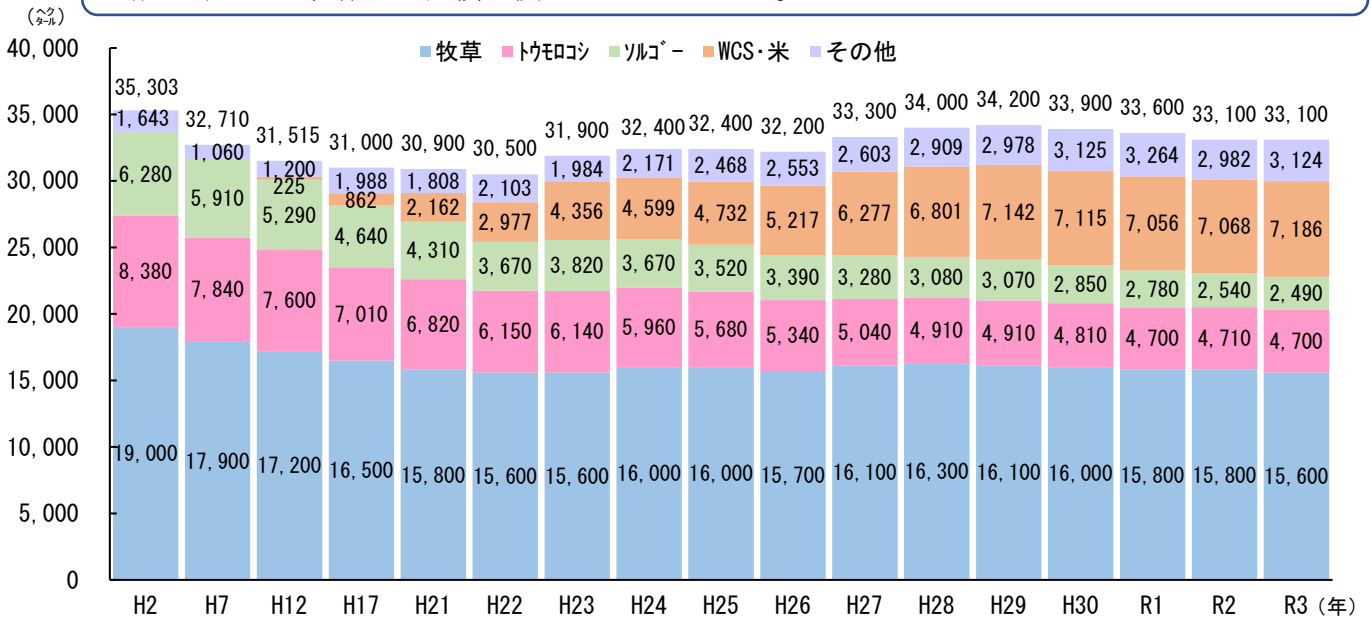


# V 飼料

## 1 自給飼料

### 飼料作物作付面積の推移

平成22年以降、飼料用稲の増加もあり飼料作物の作付面積は増加傾向にあったが、長大作物の減少等により、作付け面積は横ばいとなっている。

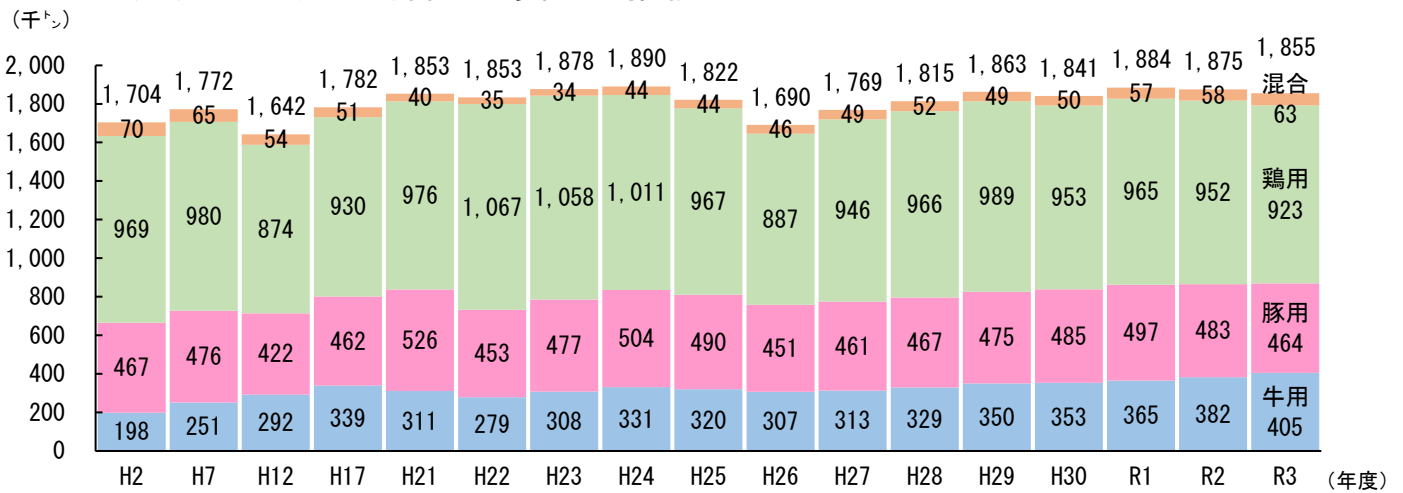


資料：「農林水産統計」

## 2 流通飼料

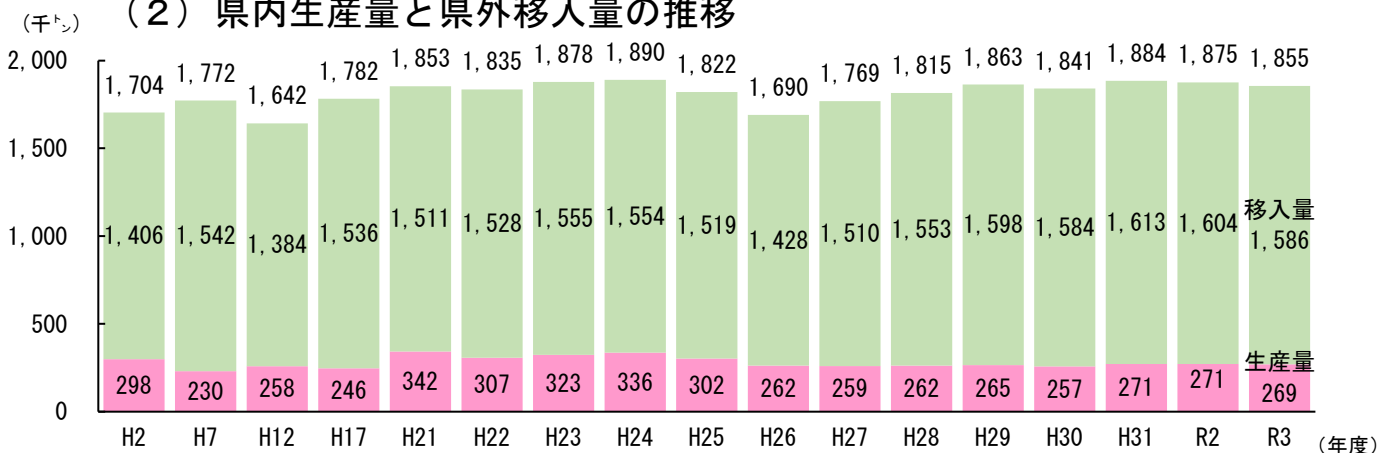
毎年180万t程度が消費されており、その約85%が県外からの移入によるものである。

### (1) 配・混合飼料の消費量の推移



資料：「農林統計協会調」

### (2) 県内生産量と県外移入量の推移

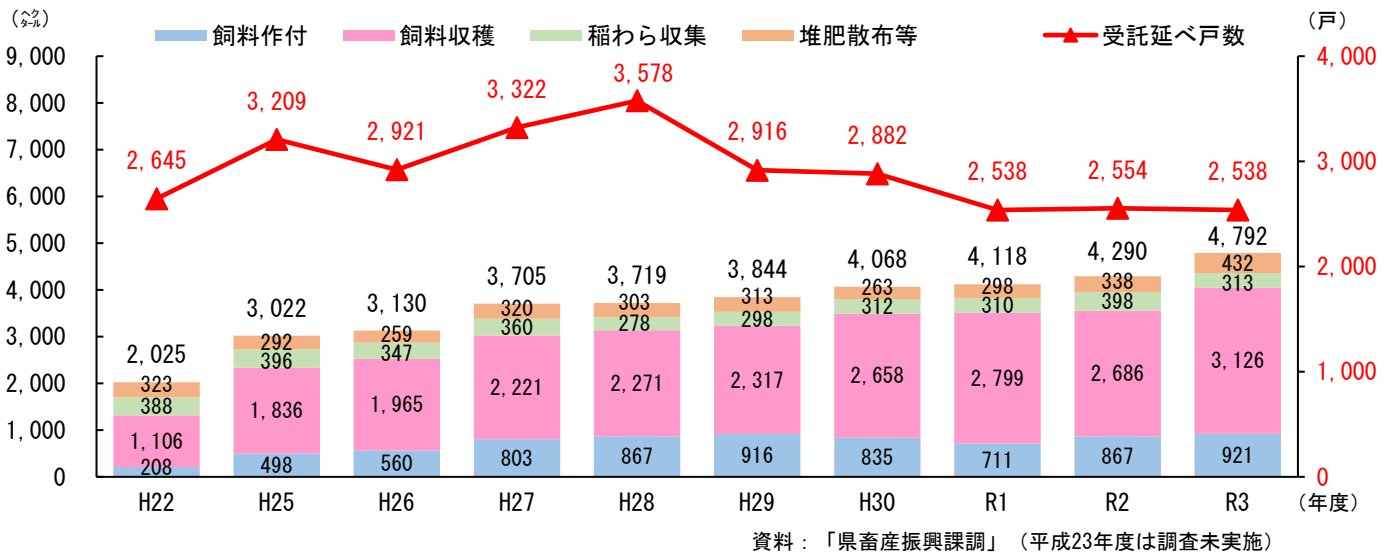


資料：「農林統計協会調」

### 3 作業受託

#### 作業受託面積・戸数の推移

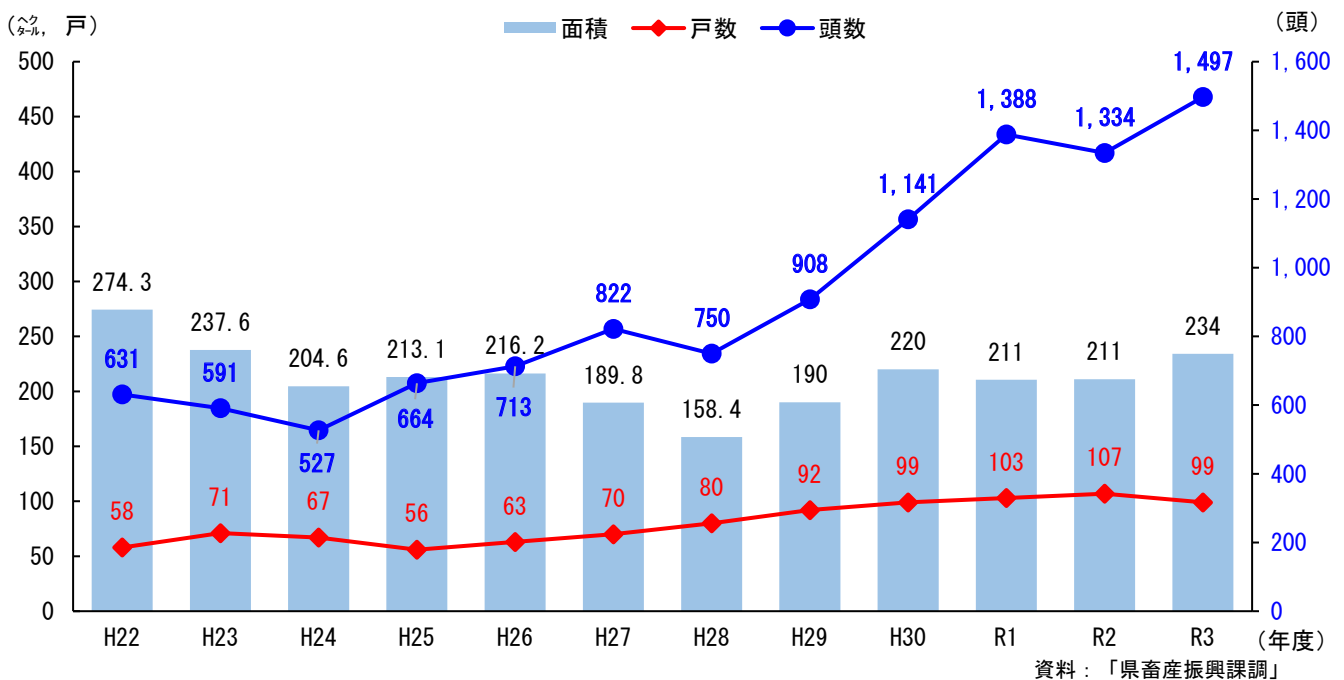
コントラクターによる飼料作物関連の作業受託面積は年々増加し、分業化が進んでいる。



### 4 肉用繁殖牛放牧

#### 放牧面積・戸数・頭数の推移

平成22年の口蹄疫発生以降、放牧面積・頭数ともに減少した。近年は放牧面積・頭数は増加に転じており、取組戸数も回復傾向にある。



コントラクター向け研修会の様子



中山間地域における放牧の様子

## VI 家畜衛生

### 1 検査実施状況（主な監視伝染病）

（単位：頭、羽、群）

病名	年度	H23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
結核		4,052	4,101	3,059	3,025	2,658	3,318	2,559	3,133	2,713	4,381	650
ブルセラ症		3,289	3,623	2,656	2,709	2,383	2,860	1,850	2,284	1,748	2,681	55
ヨーネ病（牛）		6,060	4,651	2,602	2,821	3,617	5,010	3,846	4,513	3,846	2,931	5,154
牛伝染性リンパ腫		7,076	6,935	4,758	4,690	7,412	13,610	17,624	19,666	19,624	17,568	15,695
豚熱		710	949	1,073	1,024	984	913	985	1,024	1,668	1,855	2,340
オースキー病		14,001	18,856	15,935	7,818	10,127	8,816	9,738	7,978	7,337	5,280	4,273
豚繁殖・呼吸障害症候群		5,386	5,261	6,026	5,910	6,281	5,265	6,165	6,648	5,707	5,989	4,375
豚流行性下痢		0	180	130	740	968	364	0	0	0	4	0
伝染性胃腸炎		0	180	130	130	310	180	0	0	0	0	0
高病原性 鳥インフルエンザ		1,857	2,638	2,384	2,318	1,918	3,567	3,621	2,221	1,849	9,571	1,848
ニューカッスル病		90	1,826	2,385	2,353	2,232	2,603	2,414	1,920	1,920	1,480	690
腐蛆病		4,032	3,297	3,749	3,969	3,701	3,629	3,504	3,403	3,399	3,131	3,314

資料：「県家畜防疫対策課調」

### 2 家畜伝染病発生状況（主な監視伝染病）

（単位：頭、羽、群（口蹄疫・鳥インフルエンザの上段は殺処分頭羽数、下段は件数））

病名	年次	H23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
口蹄疫		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヨーネ病（牛）		—	1	—	—	2	2	7	1	—	—	1
牛伝染性リンパ腫		42	50	64	56	115	101	122	137	160	166	206
牛ウイルス性下痢		1	1	—	—	1	4	9	15	16	5	3
豚流行性下痢		—	—	16	—	43	29	4	11	2	—	—
伝染性胃腸炎		—	1	—	17	—	—	—	—	—	—	—
豚丹毒		8	21	19	18	31	32	31	21	24	17	15
高病原性 鳥インフルエンザ		1,011,968 (13)	—	—	46,025 (2)	—	116,977 (1)	166,195 (1)	—	—	319,497 (9)	315,019 (3)
腐蛆病		28	10	2	5	—	—	—	—	—	—	—

※H21以前に発生した監視伝染病（最終発生、頭羽数）

流行性脳炎（S58年、1頭）、結核病（S60年、1頭）、馬伝染性貧血（S54年、3頭）、豚コレラ（S55年、741頭）  
ニューカッスル病（S57年、10,431羽）、ひな白痢（S53年、589羽）、口蹄疫（H22、297,808頭）

資料：「県家畜防疫対策課調」



### 3 予防接種実施状況

(単位:千頭)

ワクチン名	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
牛呼吸器5種混合	62	66	62	60	57	42	39	39	44.1	62	63.2
牛呼吸器6種混合	—	—	—	—	—	—	0.2	0.1	0.2	0.004	0.013
牛呼吸器5種・ヘモ混合	—	—	—	—	—	18	23	24	18.6	—	—
牛ヘモフィルス・ソムナス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22.2	23
牛異常産3種混合	61	52	50	47	52	53	35	9.4	3.3	2.1	—
牛異常産4種混合	—	—	—	—	—	—	26	58	59.0	57.3	58.8
イバラキ病	22	25	23	22	21	22	23	23	24.4	25.7	25.2
牛流行熱・イバラキ病混合	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.068	0.059
炭疽	20	19	18	17	18	18	18	17	17.4	17.8	18
オースキー病	966	886	390	234	84	3.6	3.0	4.7	3.5	2.9	3.5
A R B P ・ 豚丹毒	—	—	13	0	—	—	—	—	—	—	—
豚丹毒	294	220	177	5.8	8.7	9.7	9.3	8.5	7.8	22.1	2

資料: 「県家畜防疫対策課調」  
「宮崎県畜産協会調」

### 4 県内の家畜人工授精成績 (県内で開設する家畜人工授精所のデータを集計)

#### (1) 肉用牛

(単位:頭)

年次	受胎成績						生産成績					備考	
	雌実頭数	受胎頭数	流産頭数	不受胎頭数	不明頭数	受胎率	生産頭数	雄	雌	早産、生後	生産率	双子	三子
	A	B	C	D	E	B/(A-E)	F+G+H	F	G	へい死 H	F+G+H/(A-E)		
H28	82,853	67,956	1,859	9,438	5,459	88%	66,484	34,110	31,831	543	86%	381	3
H29	86,102	69,886	1,918	10,137	6,079	87%	68,379	34,985	32,762	632	85%	407	2
H30	84,503	68,116	1,926	10,332	6,055	87%	66,613	34,078	31,939	596	85%	421	1
R1	85,258	68,221	2,225	10,853	6,184	86%	66,504	33,949	31,940	615	84%	506	1
R2	87,857	70,014	2,285	12,228	5,615	85%	68,216	34,689	32,936	591	83%	485	1

資料: 「県家畜防疫対策課調」

#### (2) 乳用牛

(単位:頭)

年次	受胎成績						生産成績					備考	
	雌実頭数	受胎頭数	流産頭数	不受胎頭数	不明頭数	受胎率	生産頭数	雄	雌	早産、生後	生産率	双子	三子
	A	B	C	D	E	B/(A-E)	F+G+H	F	G	へい死 H	F+G+H/(A-E)		
H28	5,358	3,273	194	1,640	445	67%	3,143	1,453	1,648	42	64%	64	0
H29	5,278	3,317	218	1,669	292	67%	3,162	1,449	1,638	75	63%	61	1
H30	4,946	3,060	179	1,646	240	65%	2,939	1,331	1,551	57	63%	58	0
R1	5,657	3,579	246	1,694	384	68%	3,404	1,530	1,800	74	65%	71	0
R2	5,231	3,321	208	1,562	348	68%	3,180	1,368	1,760	52	65%	67	0

資料: 「県家畜防疫対策課調」

## 5 令和4年度の家畜伝染病の発生

令和4年11月20日に県内1例目となる高病原性鳥インフルエンザが新富町で発生し、12月には日向市、翌年1月には川南町で発生があった。

合計約41万羽の鶏を殺処分したほか、延べ14箇所の消毒ポイントの設置・運営や発生農場及び制限区域内の農場への支援など、様々な対策を実施した。

防疫作業では、県、地元市町村等に加え、自衛隊、JAグループ、県建設業協会、地元バス会社、県トラック協会などの多くの関係団体・企業、国（国土交通省、農林水産省）等の御協力をいただき、発生農場等の防疫措置を迅速に完了することができた。

靴底消毒等に御協力いただいた県民の皆様を含め、関係するすべての皆様に感謝申し上げるとともに、引き続き緊張感を維持しながら、新たな発生を防止する取組を進めていく。

○防疫作業



○掘削作業



○埋却作業



○清掃・消毒作業



○防疫措置の完了



○消毒ポイントでの車両消毒

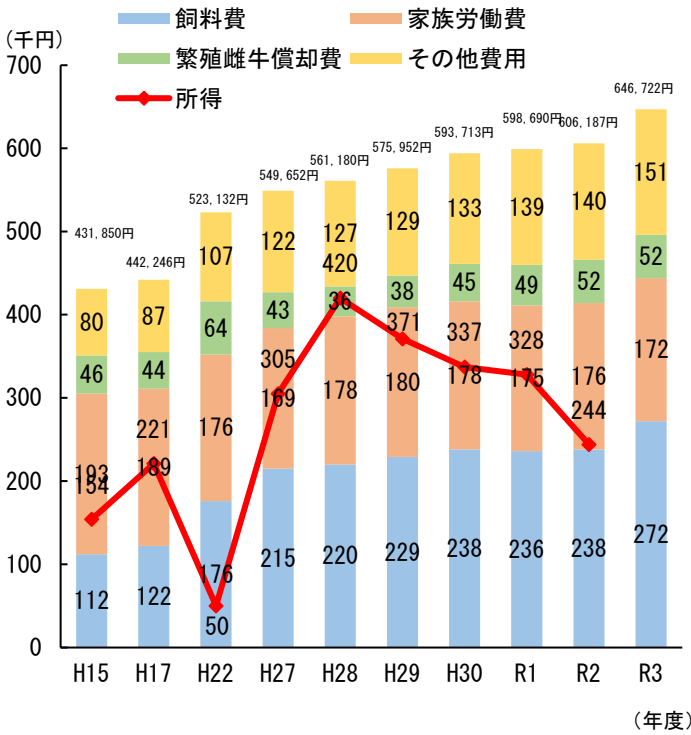


## ○高病原性鳥インフルエンザへの対応

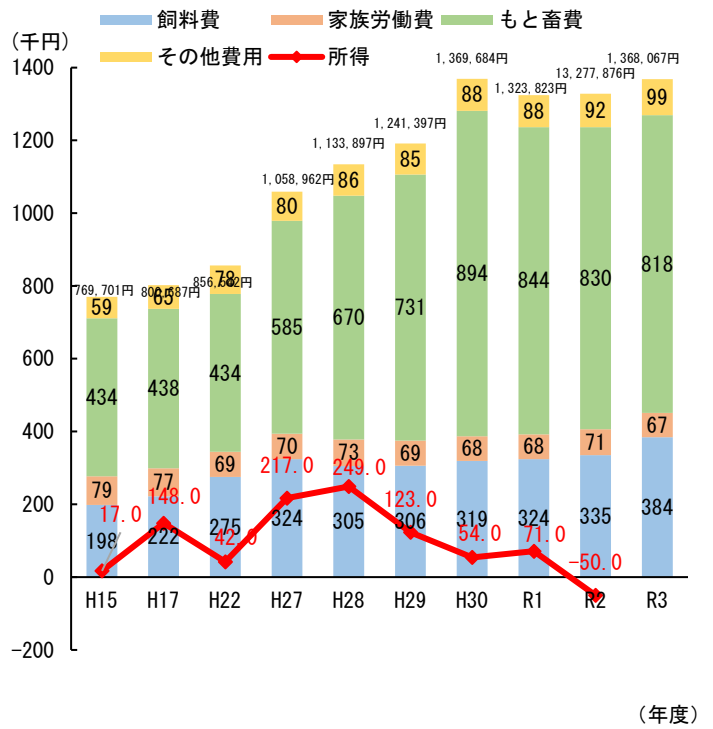
	1例目	2例目	3例目
<b>発生農場の概要</b>	児湯郡新富町 採卵鶏 約16万羽	日向市 肉用鶏 約15万羽 (発生農場 5万羽) (関連農場 10万羽)	児湯郡川南町 採卵鶏 約10万羽
<b>発生確認</b>			
・通報	11/19 8:55	12/20 12:30	1/9 10:00
・簡易検査	11/19 11:30,14:00	12/20 14:05,17:00	1/9 13:40,16:10
・PCR検査	11/20 1:00	12/21 10:00	1/10 5:00
・疑似患畜確定	11/20 4:00	12/21 13:00	1/10 7:00
<b>防疫措置</b>			
・防疫措置開始	11/20 4:00	12/21 13:00	1/10 7:00
・殺処分完了	11/21 20:25	12/22 7:25	1/11 18:10
・防疫措置完了	11/22 18:00	12/22 17:00	1/12 17:00
<b>農場防疫動員数</b>	延べ1,161名 県建設業協会 39名 JAグループ 80名 企業・団体 10名 自衛隊 278名 国(九州農政局) 14名 県職員 740名	延べ513名 県建設業協会 87名 JAグループ 53名 企業・団体 39名 日向市 25名 県職員 309名	延べ794名 県建設業協会 44名 JAグループ 20名 企業・団体 29名 日向市 8名 県職員 693名
<b>区域内農場数</b>	計78農場 約283万羽 ・移動制限 1農場 約 2万羽 ・搬出制限 77農場 約281万羽	計60農場 約159万羽 9農場 約 40万羽 51農場 約119万羽	計123農場 約396万羽 19農場 約 51万羽 104農場 約345万羽
<b>消毒ポイント</b>			
・設置箇所数	4か所	6か所	4か所
・作業員数	延べ835名 市町 94名 JAグループ 5名 その他 588名 県職員 148名	延べ646名 市町 235名 JAグループ 23名 その他 192名 県職員 196名	延べ924名 市町 222名 その他 468名 県職員 234名
<b>発生状況確認検査</b>	令和4年11月20日 移動制限区域内 1農場 陰性	令和4年12月21日 移動制限区域内 7農場(空舎除く) 陰性	令和5年1月10日 移動制限区域内 13農場(空舎除く) 陰性
<b>清浄性確認検査</b>	令和4年12月3日 移動制限区域内 1農場 陰性	令和5年1月2日 移動制限区域内 9農場 陰性	令和5年1月23日 移動制限区域内 13農場 陰性
<b>搬出制限区域解除</b>	令和4年12月7日 消毒ポイント2か所終了	令和5年1月6日 消毒ポイント4か所終了 消毒ポイント1か所追加	令和5年1月27日 消毒ポイント2か所終了
<b>移動制限区域解除</b>	令和4年12月14日 全ての消毒ポイント終了	令和5年1月13日 全ての消毒ポイント終了	令和5年2月3日 全ての消毒ポイント終了

# Ⅶ 生産費と所得の推移（全国）

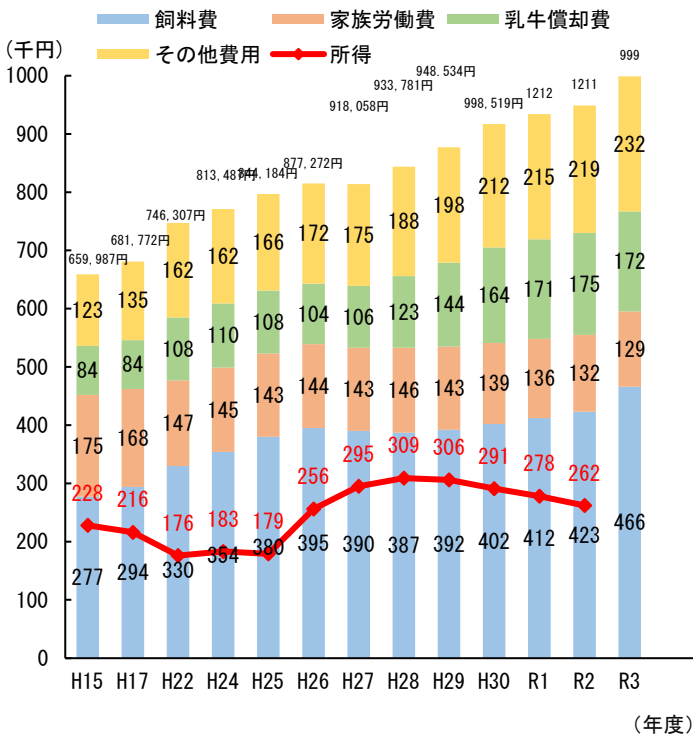
(1) 子牛の生産費（子牛1頭当たり）と所得（繁殖雌牛1頭当たり）の推移



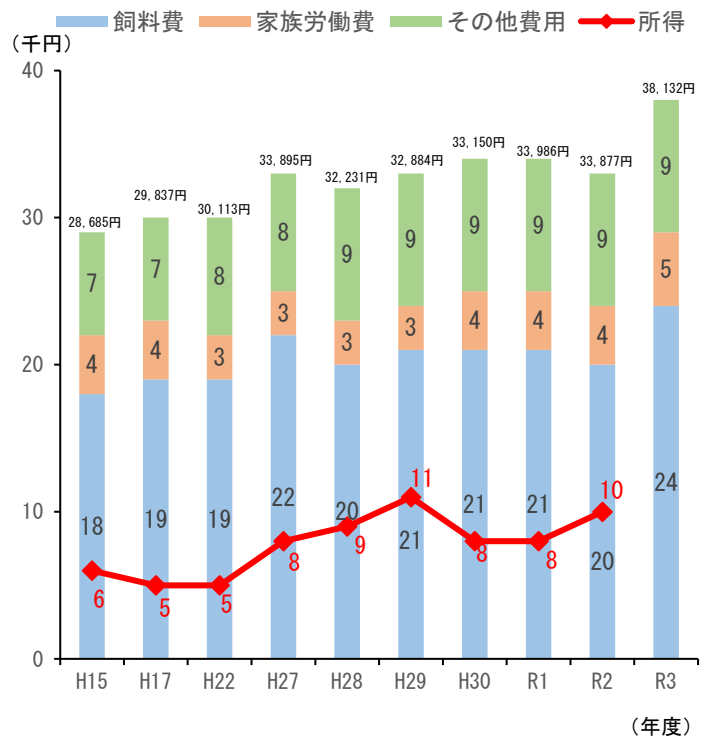
(2) 肥育牛生産費と所得の推移（去勢肥育牛1頭当たり）



(3) 生乳生産費と所得の推移（搾乳牛通年換算1頭当たり）



(4) 肥育豚生産費と所得の推移（肥育豚1頭当たり）



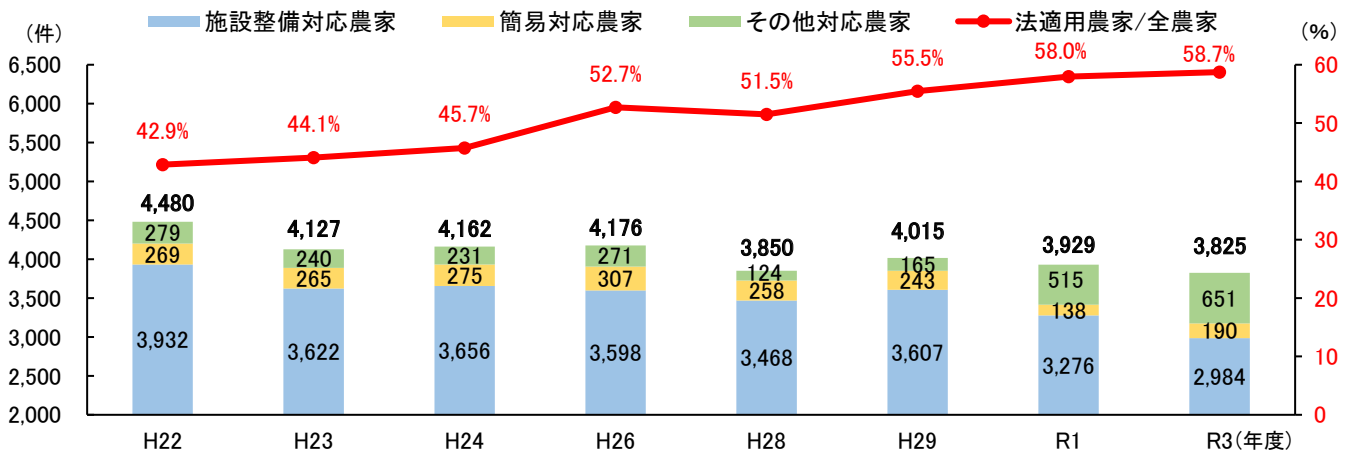
資料：農林水産省「経営統計 畜産物生産費統計」



# Ⅷ 環境保全

## 1 家畜排せつ物法管理基準適用農家の状況

家畜排せつ物法適用農家のうち、8割以上が施設整備による対応で、残り2割が簡易対応とその他対応である。全農家に占める法適用農家の割合は増加傾向にある。



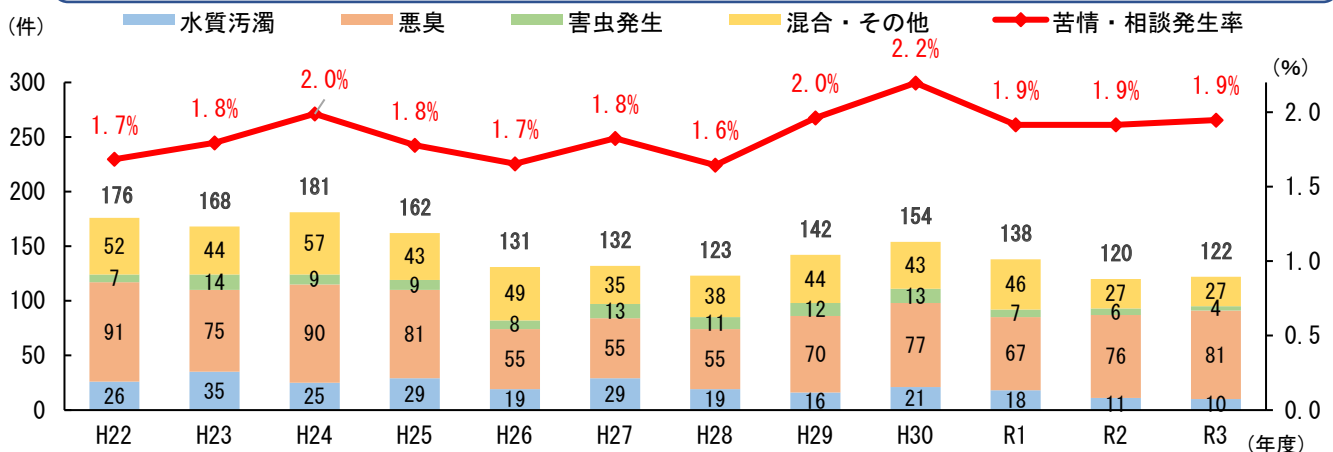
資料：「県畜産振興課調」

※H25・H27・H30・R2は調査未実施のためデータなし

## 2 畜産環境苦情・相談件数

### (1) 種類別件数の推移

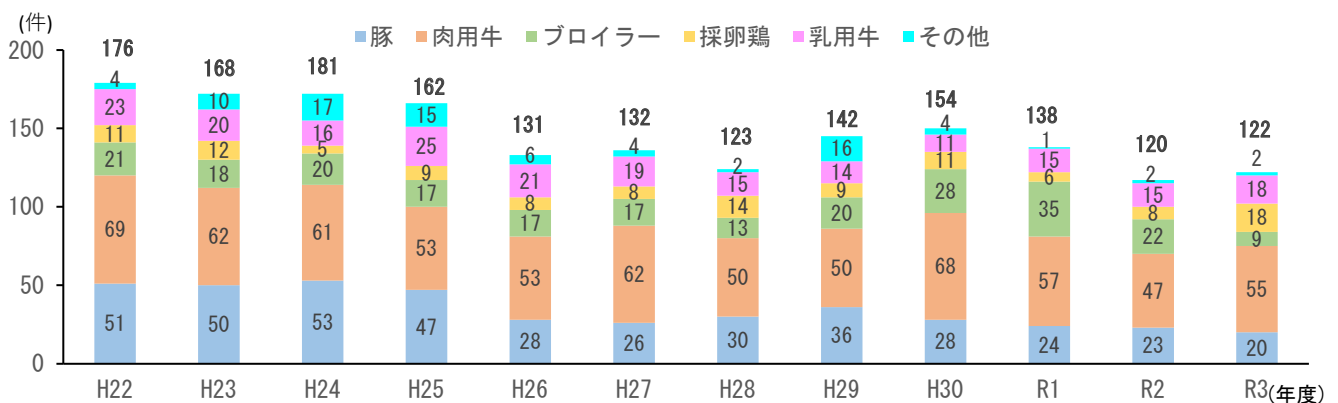
悪臭関係が約6割を占め、次いで混合・その他が約2割、水質汚濁が約1割である。全農家に対する苦情・相談発生率は、昨年と比較して横ばいである。



資料：「県畜産振興課調」、「畜産統計」、「農林業センサス」

### (2) 畜種別件数の推移

畜種別にみると、肉用牛に関するものが最も多く、乳用牛で増加傾向にある。



資料：「県畜産振興課調」

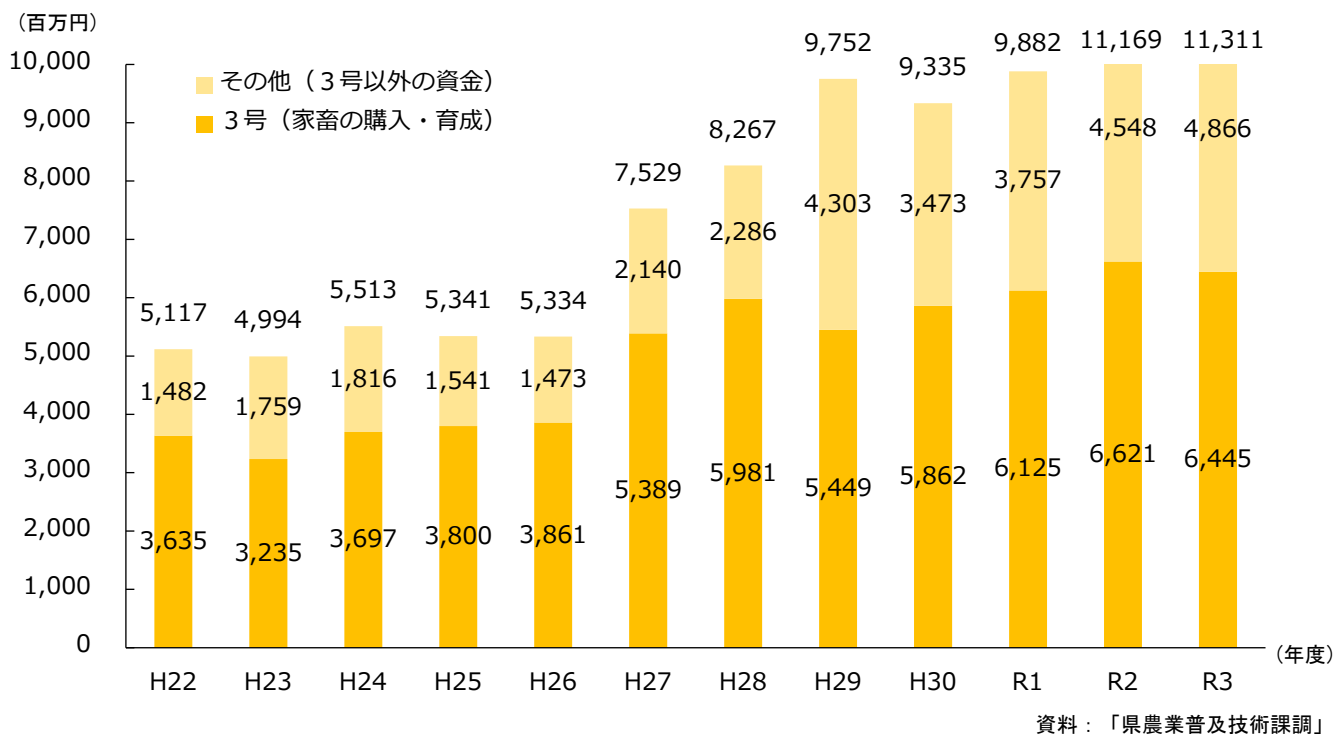


## Ⅸ 畜産金融

### 畜産経営に関する資金融資（利子補給承認実績）

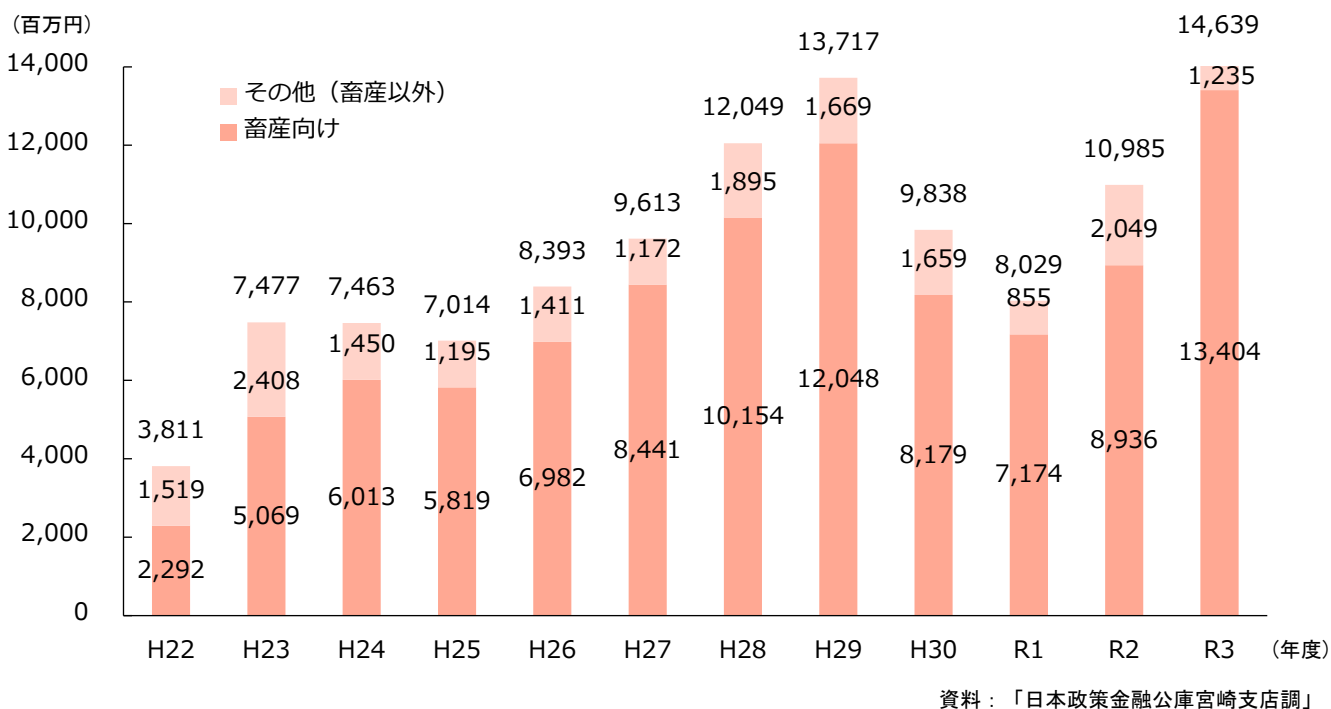
#### 1 農業近代化資金

主に肥育素牛の導入に利用される3号資金（家畜の購入・育成に係る資金）の割合が融資額全体の6割を占め最も高く、近年は64億円程度となっている。



#### 2 スーパーL資金（農業経営基盤強化資金）

畜産向け融資額が全体の約9割を占めている。令和3年度では、新型コロナウイルス感染拡大収束後を見据えた設備投資と飼料高騰による育成費の増加により、令和2年度の5割増となった。

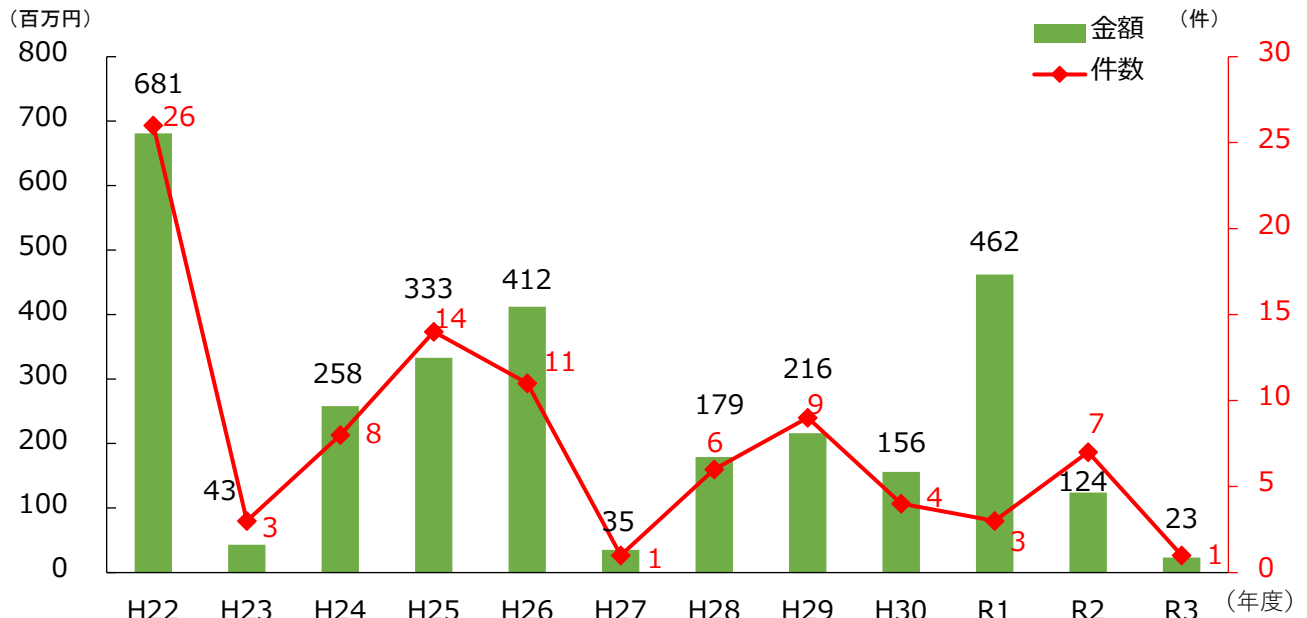


### 3 畜産特別資金

平成22年度は口蹄疫の影響で金額及び件数が増加し、平成25年度及び平成26年度は一括借換えが可能な資金の貸付実施により金額及び件数が増加した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により件数が増加したものの、近年は10件以下で推移している。

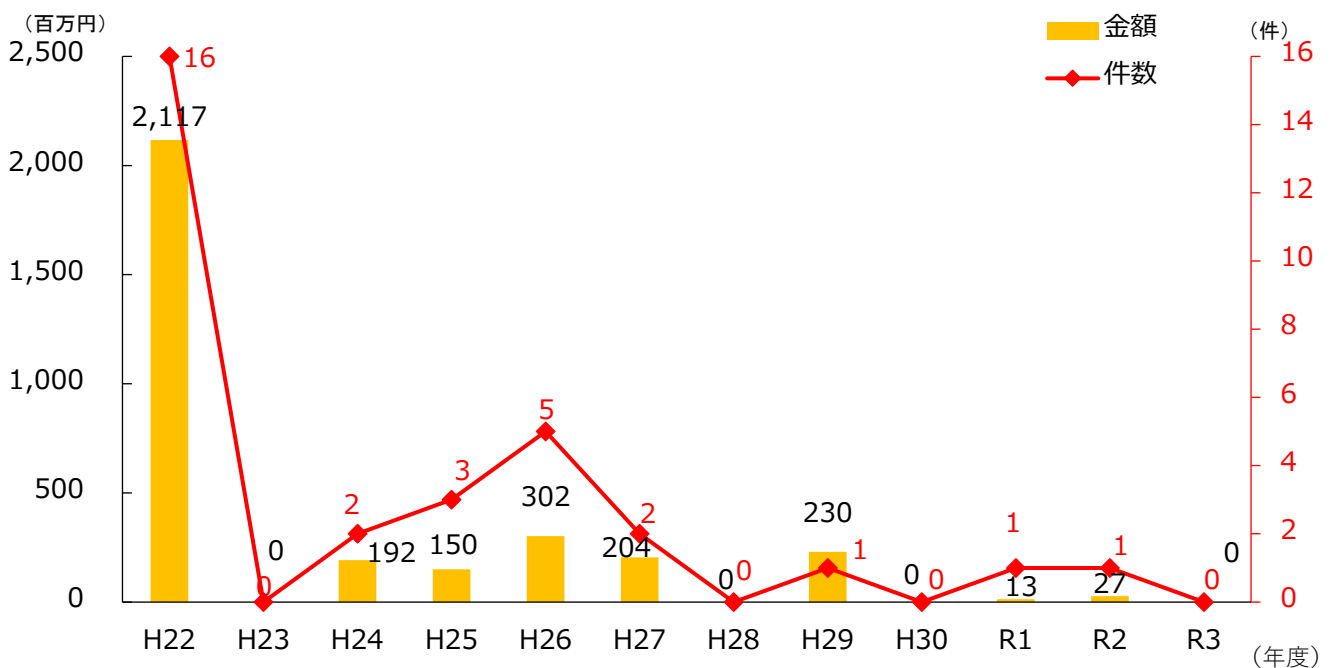
#### (1) 大家畜



※平成22年度は畜産経営維持緊急支援資金含む  
 ※平成25・26・27年度は畜産経営改善緊急支援資金含む

資料：「県畜産振興課調」

#### (2) 養豚



※平成22年度は畜産経営維持緊急支援資金含む  
 ※平成25・26年度は畜産経営改善緊急支援資金含む

資料：「県畜産振興課調」

## X 試験研究

### 畜産試験場 試験課題一覧

<b>【肉用牛部】</b>	
(1)	生産性向上を目指した繁殖牛・子牛の効率的飼養管理技術の検討(2021～2024)
(2)	競争力を強化した肥育牛生産体系の開発に関する研究(2021～2024)
(3)	「宮崎牛」のおいしさ高位平準化試験(2022～2024)
(4)	肉用牛における県独自のゲノミック評価技術の構築と育種改良への活用に関する研究(2023～2025)
<b>【酪農飼料部】</b>	
(1)	オートメーション化された乳用牛の飼養管理技術の開発(2021～2023)
(2)	温暖化に対応した乳牛の飼養管理最適化試験(2023～2025)
(3)	自給飼料生産オートメーション化に向けた試験(2021～2023)
(4)	飼料作物の優良品種選定試験(1982～)
(5)	自給飼料分析指導事業(1985～)
(6)	自給飼料生産の機械化体系確立試験(1998～)
(7)	飼料害虫ツマジロクサトウの防除対策事業(2021～2023)
<b>【家畜バイテク部】</b>	
(1)	受精卵移植における受胎率向上試験(2023～2025)
(2)	黒毛和種供胚牛の生涯採胚成績向上(2021～2023)
(3)	黒毛和種における卵巢予備能と繁殖性の関連性調査(2022～2024)
(4)	牛舎冷却施設を用いた暑熱期の生産性向上対策試験(2021～2023)
(5)	食品廃棄物を用いた機能性成分高含有飼料の実用化に向けた製造の検討(2022～2024)
(6)	受精卵供給事業(1990～)
<b>【川南支場 養豚科】</b>	
(1)	みやざきスマート養豚生産技術向上試験(2021～2023)
(2)	食品廃棄物を用いた機能性成分高含有飼料の実用化に向けた製造の検討(2022～2024)
<b>【川南支場 養鶏科】</b>	
(1)	能力向上とヒナの安定供給を目指した種鶏づくり(2019～2023)
(2)	みやざき地頭鶏の新たな生産性向上対策試験(2020～2024)
(3)	みやざき地頭鶏総合支援事業(2021～2023)
<b>【川南支場 環境衛生科】</b>	
(1)	持続可能なスマート畜産環境対策技術の開発・実証(2023～2025)



#### 【未利用資源を生かした発酵TMRの給与】

未利用資源(えのき茸菌床)を活用した発酵TMRの給与体系を構築するため、分娩前後の繁殖牛に給与試験を行い、血液性状や第一胃液性状等の調査をしています。

(肉用牛部(1))

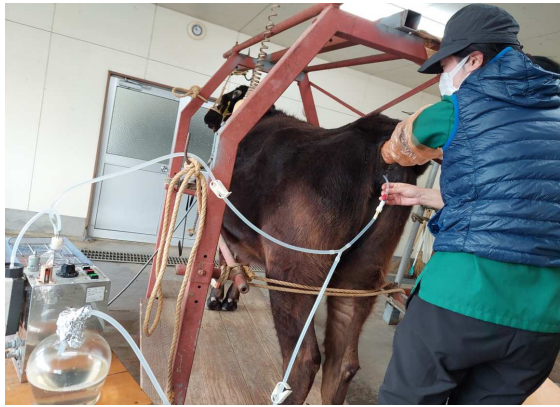


#### 【搾乳ロボット導入における飼養管理技術の実証】

搾乳ロボット導入による飼養管理や飼料給与体系の変更が、繁殖性や乳生産性に及ぼす影響を検証しています。

(酪農飼料部(1))





**【生涯採胚成績向上試験】**

採胚成績が低下するとされている6歳以上の黒毛和種繁殖雌牛について、抗酸化物質を投与することで採胚成績の向上を図る試験を行っています。

(家畜バイオテク部 (2))



**【スマート養豚生産技術向上試験】**

豚の生産性の向上にむけて、スマート養豚のための技術開発を関係機関等と連携して試験しています。

(川南支場養豚科 (1))



**【「みやざき地頭鶏」の種鶏づくりのための調査状況】**

「みやざき地頭鶏」の原種鶏の発育や産卵成績等の能力向上に係る試験を行い、「みやざき地頭鶏」の素ひなの安定供給を目指しています。

(川南支場養鶏科 (1))



**【アミノ酸バランス改善飼料の効果実証】**

地域資源を活用した低タンパク質アミノ酸バランス改善飼料の給与効果について、独自に制作した糞尿採取枠を用いて消化試験を行い給与効果の実証試験を行っています。

(川南支場環境衛生科 (1))

**【畜試トピックス】**

国産濃厚飼料（子実用トウモロコシ）の安定多収技術を開発します！

**(試験概要)**

近年、地球温暖化など気候変動により、輸入飼料の価格が高騰しています。

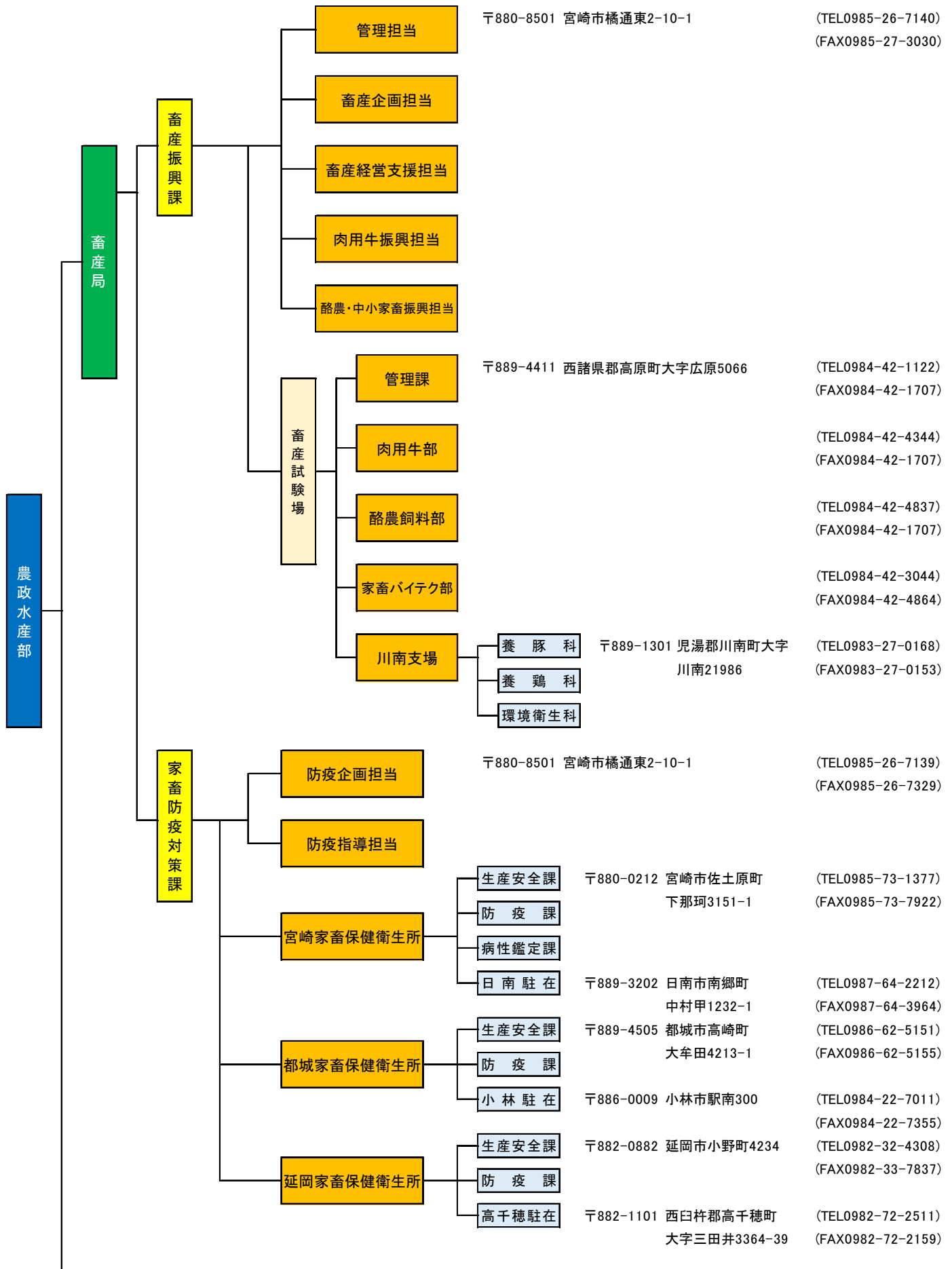
そこで、畜産試験場では、輸入に頼らない国産濃厚飼料の安定多収生産技術とそれらを用いた発酵TMR調製技術の開発に取り組んでいます。



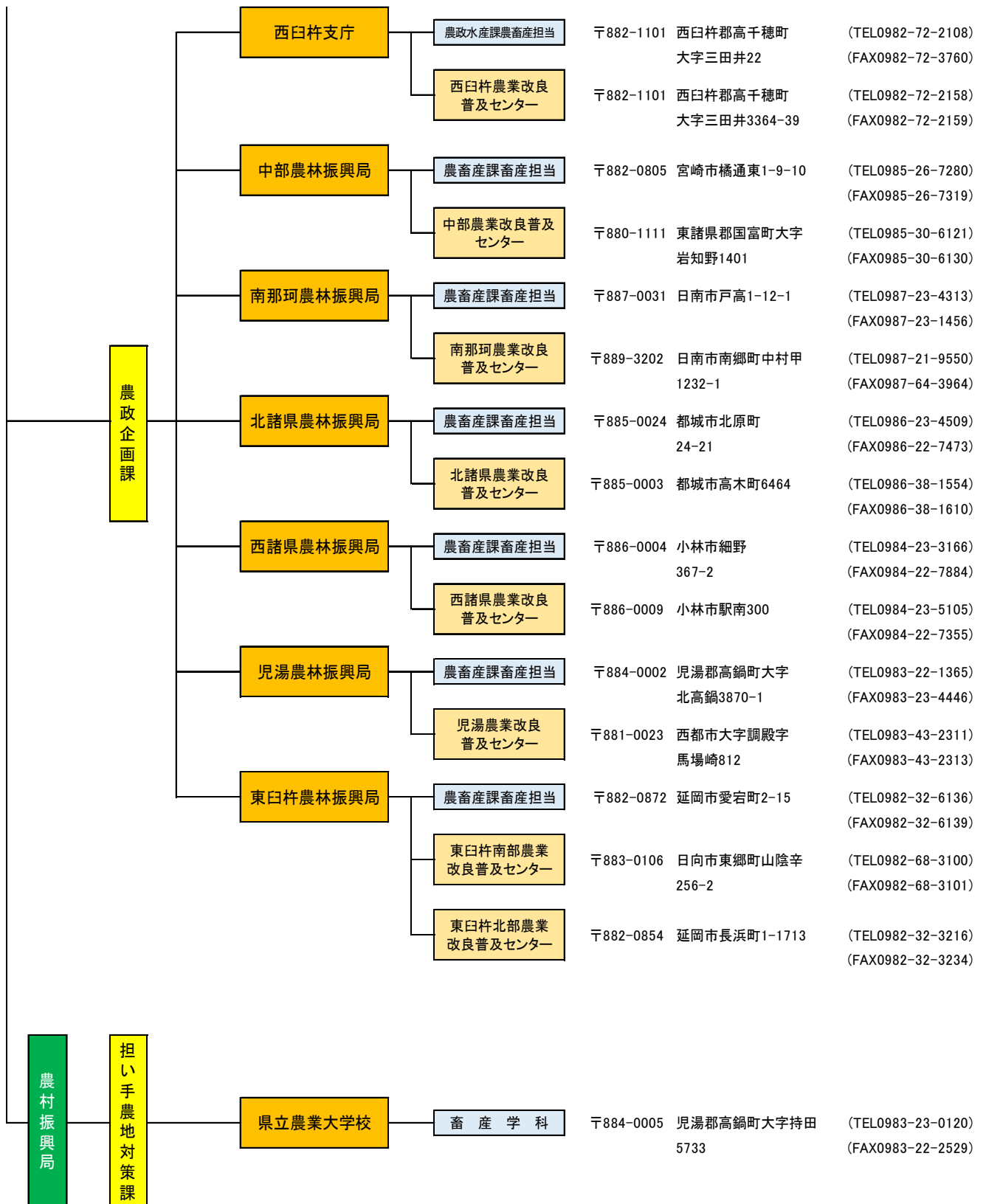
# XI 資料編



## 1 県の畜産関係組織図（令和5年4月現在）







## 2 県内畜産関係団体

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話	FAX
( 公 社 ) 宮 崎 県 畜 産 協 会	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産会館内	0985-41-9300	0985-24-3772
(公社) 全国和牛登録協会宮崎県支部	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産会館内	0985-24-2211	0985-24-0963
( 一 社 ) 宮 崎 県 獣 医 師 会	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産会館内	0985-24-7532	0985-24-5995
( 一 社 ) 宮 崎 県 養 鶏 協 会	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産会館内	0985-29-4375	0985-29-5418
( 一 社 ) 宮 崎 県 家 畜 改 良 事 業 団	884-0005	児湯郡高鍋町大字持田5734	0983-22-3020	0983-22-3016
( 公 社 ) 宮 崎 県 農 業 振 興 公 社	880-0913	宮崎市恒久1丁目7番地14	0985-51-2011	0985-51-8006
(一社) 宮崎県配合飼料価格安定基金協会	880-0901	宮崎市東大淀1丁目1番地41ナツビル 4階	0985-52-2359	0985-52-6594
(一社) 宮崎県肉用牛枝肉価格安定基金協会	880-8556	宮崎市霧島1丁目1番地1 県経済連内	0985-31-2130	0985-31-5780
( 一 社 ) 宮 崎 県 酪 農 公 社	885-0224	都城市御池町無番地	0986-33-1816	0986-33-1709
宮 崎 県 農 業 協 同 組 合 中 央 会	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2025	0985-31-5753
宮 崎 県 経 済 農 業 協 同 組 合 連 合 会	880-8556	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2150	0985-31-5761
宮 崎 県 信 用 農 業 協 同 組 合 連 合 会	880-8686	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2079	0985-31-5812
全国共済農業協同組合連合会 宮崎県本部	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2202	0985-31-5821
宮 崎 県 農 業 共 済 組 合	880-0877	宮崎市宮脇町118 番	0985-27-4288	0985-23-9636
宮崎県農業共済組合生産獣医療センター	889-1406	児湯郡新富町大字新田18802-3	0983-35-1116	0983-35-1137
宮 崎 県 農 家 経 営 支 援 セ ン タ ー	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2055	0985-31-5753
宮 崎 県 養 蜂 組 合	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産協会内	0985-41-9301	0985-24-3773
宮 崎 県 養 鶏 農 業 協 同 組 合	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産会館内	0985-41-8855	0985-41-8850
みやざき地頭鶏事業協同組合	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産会館内	0985-77-5566	0985-77-5567
宮 崎 県 食 肉 事 業 協 同 組 合	880-0834	宮崎市新別府町雀田1185番地 中央卸売市場内	0985-24-8022	0985-28-8429
宮 崎 県 家 畜 商 商 業 協 同 組 合	885-0004	都城市都北町7294番地	0986-38-0020	0986-38-4796
宮 崎 県 農 業 信 用 基 金 協 会	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2241	0985-31-5837
日本政策金融公庫宮崎支店 農林水産事業	880-0805	宮崎市橘通東3丁目6番地30	0985-29-6811	0985-28-3387
一 般 社 団 法 人 宮 崎 県 農 業 会 議	880-0913	宮崎市恒久1丁目7番地14	0985-73-9211	0985-52-1102
宮 崎 県 農 業 再 生 協 議 会	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1 県中央会農政課内	0985-31-2030	0985-31-5727
宮 崎 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会	884-0005	児湯郡高鍋町大字持田5734番地 家畜改良事業団内	0983-22-3020	0983-22-3016
宮 崎 県 乳 業 協 会	885-0073	都城市姫城町32街区3号南日本酪農協同(株)内	0986-23-3457	0986-25-6033
宮 崎 県 牛 乳 普 及 協 会	880-8556	宮崎市霧島1丁目1番地1 県経済連内	0985-31-2128	0985-31-5765
宮 崎 県 経 済 連 霧 島 集 乳 事 業 所	889-4412	西諸県郡高原町大字西麓3241番地	0984-25-6700	0984-25-6701

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話	FAX
(独) 家畜改良センター宮崎牧場	886-0004	小林市細野5157番地29	0984-23-3500	0984-24-0953
(一社)宮崎県農業法人経営者協会	880-0913	宮崎市恒久1丁目7番地14	0985-73-9211	0985-52-1102
宮崎中央農業協同組合畜産部	880-2101	宮崎市大字跡江字土手外198	0985-47-3730	0985-47-4705
綾町農業協同組合経済部畜産課	880-1303	東諸県郡綾町大字南俣480番地1	0985-77-3328	0985-77-4200
はまゆう農業協同組合畜産部	889-3532	串間市大字大平5677番地	0987-71-2652	0987-74-2001
串間市大東農業協同組合営農部	889-3531	串間市大字奈留5237番地1	0987-74-2564	0987-74-2565
都城農業協同組合畜産部	885-0003	都城市高木町6222番地1	0986-38-8780	0986-38-9029
こばやし農業協同組合畜産部	886-8520	小林市細野1321番地	0984-23-1316	0984-23-7876
えびの市農業協同組合畜産課	889-4311	えびの市大字大明司1061番地1	0984-33-5747	0984-33-5752
西諸県郡市畜産販売農業協同組合連合会	886-0005	小林市南西方1112番地	0984-23-4128	0984-24-0045
西都農業協同組合畜産課	881-8567	西都市大字右松2071番地	0983-35-4126	0983-43-3320
児湯農業協同組合畜産部	884-0002	児湯郡高鍋町大字北高鍋99番地1	0983-32-1572	0983-23-2778
尾鈴農業協同組合畜産部	889-1301	児湯郡川南町大字川南20046	0983-27-1600	0983-27-1485
児湯郡市畜産農業協同組合連合会	889-1406	児湯郡新富町大字新田字北畦原21696番地1	0983-35-1231	0983-35-1233
日向農業協同組合畜産課	883-0033	日向市塩見11974番地1	0982-52-6217	0982-53-2320
東臼杵郡市畜産農業協同組合連合会	889-0514	延岡市櫛津町3060	0982-37-3200	0982-37-3205
延岡農業協同組合畜産振興課	882-0033	延岡市川原崎町281番地1	0982-23-1893	0982-23-1861
高千穂地区農業協同組合畜産部	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井883番地1	0982-72-2470	0982-72-5974
宮崎県乳用牛肥育事業農業協同組合	880-0833	宮崎市昭栄町53番地	0985-26-2324	0985-23-7351
串間酪農業協同組合	888-0004	串間市大字串間811番地	0987-72-3048	0987-72-4291
宮崎県南部酪農業協同組合	885-0061	都城市下長飯町2351番地2	0986-23-3455	0986-23-3499
霧島ビーフ農業協同組合	886-0005	小林市南西方8088	0984-24-0015	0984-24-0035
児湯養鶏農業協同組合	889-1401	児湯郡新富町大字日置2930番地	0983-33-2141	0983-33-1583
宮崎環境保全農業協同組合	889-1301	児湯郡川南町大字川南4591番地4	0983-27-5860	0983-27-5897
(株) ミ ヤ チ ク	889-4505	都城市高崎町大牟田4251番地3	0986-62-2901	0986-62-5529
南日本酪農協同(株)	885-0073	都城市姫城町32街区3号	0986-23-3456	0986-26-3457
宮崎くみあいチキンフーズ(株)	880-0943	宮崎市生目台西3丁目2-2	0985-89-6160	0985-89-6165
南国興産(株)	885-1311	都城市高城町有水1941番地	0986-53-1041	0986-53-1850
宮崎県指定種豚場協会	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産協会内	0985-41-9301	0985-24-3773
宮崎県コントラクター等協議会	880-0806	宮崎市広島1丁目13番地10 畜産協会内	0985-41-9303	0985-24-3772

### 3 統計表

#### (1) 肉用牛の飼養戸数・頭数（令和4年2月1日現在）

（単位：戸、頭）

全国農業地域 都道府県	飼養戸数		乳用種 の戸 数	飼 養 頭 数						乳 用 種		1戸当たり 飼養頭数
	飼養戸数	順位		合 計		肉 用 種			合 計	交 雑 種		
				合 計	順位	合 計	子取り用 めす牛	肥育用牛			育 成 牛	
全 国	40,400	-	4,270	2,614,000	-	1,812,000	636,800	798,300	376,800	802,200	555,300	64.7
(全国農業地域)												
北 海 道	2,240	-	821	553,300	-	201,200	76,400	59,000	65,800	352,100	176,500	247.0
都 府 県	38,100	-	3,450	2,061,000	-	1,611,000	560,400	739,300	311,000	450,100	378,800	54.1
東 北	10,000	-	587	334,100	-	269,000	99,100	114,500	55,400	65,100	48,100	33.4
北 陸	328	-	109	20,800	-	12,600	3,160	7,660	1,780	8,160	7,380	63.4
関 東・東 山	2,610	-	878	281,400	-	150,300	34,600	93,900	21,800	131,100	108,600	107.8
東 海	1,050	-	391	125,000	-	77,700	14,200	56,300	7,130	47,400	43,300	119.0
近 畿	1,400	-	135	90,600	-	77,800	21,400	47,500	8,950	12,800	11,900	64.7
中 国	2,220	-	265	128,900	-	79,700	28,900	38,100	12,600	49,200	40,400	58.1
四 国	618	-	198	60,300	-	29,000	7,900	18,200	2,890	31,300	28,300	97.6
九 州	17,700	-	827	941,700	-	837,200	306,400	357,100	173,700	104,500	90,500	53.2
沖 縄	2,170	-	55	78,000	-	77,500	44,700	5,980	26,800	460	390	35.9
(都道府県)												
北 海 道	2,240	5	821	553,300	1	201,200	76,400	59,000	65,800	352,100	176,500	247.0
青 森	763	13	112	54,600	12	30,900	13,600	12,300	4,900	23,800	11,600	71.6
岩 手	3,650	3	157	89,200	5	71,100	30,400	20,500	20,100	18,200	15,000	24.4
宮 城	2,690	4	118	80,000	8	70,000	26,500	27,600	15,900	10,000	9,030	29.7
秋 田	681	15	55	19,200	32	17,700	6,690	6,860	4,130	1,490	1,360	28.2
山 形	581	16	46	41,700	18	40,200	7,940	29,700	2,600	1,460	1,250	71.8
福 島	1,650	9	99	49,400	15	39,200	13,900	17,500	7,750	10,300	9,880	29.9
茨 城	442	21	101	49,400	15	30,300	3,870	24,000	2,460	19,100	14,600	111.8
栃 木	799	12	188	84,400	7	43,300	13,300	20,400	9,650	41,100	31,900	105.6
群 馬	502	18	232	57,300	10	32,500	7,940	20,200	4,280	24,900	23,200	114.1
埼 玉	136	34	60	17,800	33	11,800	2,240	8,530	1,070	5,980	3,590	130.9
千 葉	247	27	144	41,000	19	11,500	2,690	6,590	2,230	29,500	25,400	166.0
東 京	18	46	2	570	47	510	150	290	60	x	x	31.7
神 奈 川	58	41	36	4,970	40	2,310	460	1,640	210	2,660	2,600	85.7
新 潟	178	28	45	11,300	35	5,460	1,520	3,210	730	5,820	5,200	63.5
富 山	30	45	16	3,690	42	2,330	800	1,210	320	1,360	1,280	123.0
石 川	76	38	28	3,680	43	3,350	590	2,250	520	330	270	48.4
福 井	44	43	20	2,110	45	1,450	250	990	210	650	630	48.0
山 梨	60	40	27	5,020	39	2,350	760	1,280	310	2,670	2,500	83.7
長 野	343	24	88	20,900	30	15,700	3,240	11,000	1,480	5,190	4,860	60.9
岐 阜	452	20	61	32,900	21	30,700	8,130	17,800	4,780	2,210	2,160	72.8
静 岡	110	36	57	19,500	31	7,740	1,040	6,250	450	11,800	11,200	177.3
愛 知	340	25	248	42,400	17	12,700	3,520	8,060	1,100	29,700	26,500	124.7
三 重	148	33	25	30,200	23	26,600	1,560	24,200	800	3,660	3,540	204.1
滋 賀	89	37	30	21,100	28	17,100	2,060	14,700	380	3,940	3,720	237.1
京 都	67	39	14	5,180	38	4,920	790	3,640	500	260	230	77.3
大 阪	9	47	5	780	46	560	70	500	0	210	170	86.7
兵 庫	1,140	10	52	56,400	11	48,600	17,300	23,900	7,370	7,830	7,280	49.5
奈 良	41	44	19	4,370	41	4,090	460	3,280	350	270	230	106.6
和 歌 山	47	42	15	2,790	44	2,540	690	1,490	360	250	230	59.4
鳥 取	257	26	52	21,000	29	12,900	4,800	6,610	1,510	8,130	4,350	81.7
島 根	746	14	45	32,800	22	26,100	9,610	11,800	4,690	6,740	5,580	44.0
岡 山	406	22	94	34,900	20	15,300	5,600	7,390	2,320	19,600	17,100	86.0
広 島	460	19	40	25,700	24	13,900	4,650	6,880	2,350	11,800	10,800	55.9
山 口	350	23	34	14,500	34	11,500	4,260	5,460	1,780	3,000	2,650	41.4
徳 島	170	29	80	22,500	26	9,760	2,470	6,360	930	12,800	11,900	132.4
香 川	159	31	70	21,800	27	8,850	1,790	6,260	800	12,900	12,700	137.1
愛 媛	154	32	32	10,000	36	5,330	1,650	3,040	640	4,670	3,400	64.9
高 知	135	35	16	6,000	37	5,050	1,990	2,540	520	950	310	44.4
福 岡	169	30	60	23,400	25	15,200	2,980	11,600	570	8,190	6,180	138.5
佐 賀	532	17	28	52,800	13	51,600	10,000	36,600	4,990	1,220	1,190	99.2
長 崎	2,180	6	88	88,100	6	72,700	30,600	23,500	18,600	15,400	14,600	40.4
熊 本	2,170	7	238	133,600	4	105,000	42,000	39,800	23,100	28,700	25,900	61.6
大 分	1,050	11	83	51,500	14	40,700	17,700	14,000	8,930	10,800	6,990	49.0
宮 崎	4,940	2	182	254,500	3	229,000	85,200	88,900	54,900	25,500	22,700	51.5
鹿 児 島	6,690	1	148	337,800	2	323,100	117,800	142,700	62,600	14,700	12,900	50.5
沖 縄	2,170	7	55	78,000	9	77,500	44,700	5,980	26,800	460	390	35.9

※「X」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの  
「0」：1~4頭を四捨五入したもの

資料：農林水産省「畜産統計」

(2) 乳用牛の飼養戸数・頭数（令和4年2月1日現在）

（単位：戸、頭）

全国農業地域 都道府県	飼養戸数	順位	飼養頭数（めす）									1戸当たり 飼養頭数	
			合計	順位	成畜（2歳以上）						2歳未満 （未經産牛）		未經産牛計
					合計	小計	搾乳牛	乾乳牛	未經産牛				
<b>全 国</b>	<b>13,300</b>	-	<b>1,371,000</b>	-	<b>924,000</b>	<b>861,700</b>	<b>736,500</b>	<b>125,200</b>	<b>62,300</b>	<b>447,200</b>	<b>509,500</b>	<b>103.1</b>	
（全国農業地域）													
北海道	5,560	-	846,100	-	516,000	480,900	409,700	71,200	35,200	330,000	365,200	152.2	
都府県	7,740	-	525,100	-	407,900	380,800	326,800	54,000	27,100	117,200	144,300	67.8	
東北	1,900	-	97,400	-	71,800	66,700	57,200	9,470	5,110	25,600	30,700	51.3	
北陸	253	-	12,200	-	9,570	9,030	7,700	1,330	540	2,630	3,170	48.2	
関東・東山	2,430	-	172,200	-	136,200	126,900	108,500	18,400	9,250	36,000	45,200	70.9	
東海	549	-	47,000	-	38,100	36,200	31,000	5,250	1,850	8,940	10,800	85.6	
近畿	392	-	24,400	-	19,700	18,400	16,000	2,470	1,220	4,710	5,920	62.2	
中国	577	-	48,000	-	37,300	35,000	30,200	4,800	2,340	10,700	13,100	83.2	
四国	274	-	16,700	-	13,500	12,700	11,100	1,650	790	3,230	4,020	60.9	
<b>九州</b>	<b>1,300</b>	-	<b>103,100</b>	-	<b>78,400</b>	<b>72,700</b>	<b>62,500</b>	<b>10,200</b>	<b>5,720</b>	<b>24,700</b>	<b>30,400</b>	<b>79.3</b>	
沖縄	65	-	4,040	-	3,400	3,100	2,670	430	300	650	940	62.2	
（都道府県）													
北海道	5,560	1	846,100	1	516,000	480,900	409,700	71,200	35,200	330,000	365,200	152.2	
青森	156	19	12,200	17	9,500	8,830	7,570	1,250	670	2,680	3,360	78.2	
岩手	765	2	40,100	4	27,100	25,100	21,500	3,610	2,070	13,000	15,100	52.4	
宮城	430	6	17,800	9	13,700	12,600	10,900	1,690	1,130	4,050	5,180	41.4	
秋田	82	30	3,920	33	3,020	2,820	2,450	370	200	910	1,110	47.8	
山形	200	15	11,700	18	9,600	9,100	7,760	1,350	490	2,140	2,630	58.5	
福島	263	9	11,600	20	8,820	8,270	7,060	1,210	560	2,790	3,340	44.1	
茨城	292	8	24,000	7	19,800	18,100	15,400	2,720	1,610	4,280	5,890	82.2	
栃木	615	3	54,800	2	44,600	41,700	36,000	5,710	2,870	10,200	13,100	89.1	
群馬	412	7	33,600	5	24,900	23,200	19,800	3,420	1,670	8,740	10,400	81.6	
埼玉	162	18	7,680	24	5,830	5,440	4,700	740	390	1,850	2,240	47.4	
千葉	453	5	27,800	6	22,400	21,000	17,700	3,260	1,360	5,460	6,810	61.4	
東京	45	37	1,480	44	1,130	1,050	900	140	90	350	430	32.9	
神奈川	142	22	4,850	30	3,930	3,640	3,090	550	290	920	1,210	34.2	
新潟	155	20	5,860	27	4,760	4,440	3,820	620	320	1,110	1,430	37.8	
富山	34	43	2,180	42	1,770	1,690	1,390	300	80	420	490	64.1	
石川	42	39	3,100	38	2,290	2,190	1,870	310	100	810	910	73.8	
福井	22	46	1,060	46	760	720	620	100	40	300	340	48.2	
山梨	52	35	3,590	36	2,630	2,440	2,090	350	190	960	1,140	69.0	
長野	258	10	14,400	11	11,100	10,300	8,760	1,530	790	3,270	4,060	55.8	
岐阜	95	27	5,450	28	3,800	3,600	3,090	500	210	1,650	1,850	57.4	
静岡	175	17	13,700	12	11,200	10,500	8,760	1,770	640	2,510	3,150	78.3	
愛知	247	11	21,100	8	17,400	16,500	14,300	2,250	830	3,710	4,540	85.4	
三重	32	44	6,820	25	5,750	5,580	4,850	730	170	1,080	1,250	213.1	
滋賀	42	39	2,660	40	2,190	2,080	1,800	280	110	470	580	63.3	
京都	46	36	3,890	35	3,190	3,000	2,620	380	190	710	900	84.6	
大阪	24	45	1,220	45	1,100	1,060	890	170	40	120	160	50.8	
兵庫	232	12	12,900	15	9,800	9,010	7,780	1,230	790	3,110	3,900	55.6	
奈良	39	41	3,150	37	2,890	2,830	2,490	340	70	250	320	80.8	
和歌山	9	47	530	47	490	470	400	70	20	40	60	58.9	
鳥取	109	25	8,980	22	6,750	6,370	5,480	890	380	2,230	2,610	82.4	
島根	86	29	10,900	21	8,750	8,250	7,130	1,120	490	2,130	2,620	126.7	
岡山	207	14	16,800	10	13,400	12,600	10,900	1,760	740	3,420	4,160	81.2	
広島	121	24	8,900	23	6,500	5,890	5,110	780	620	2,390	3,010	73.6	
山口	54	34	2,480	41	1,930	1,820	1,570	250	110	550	660	45.9	
徳島	81	31	3,920	33	3,190	3,020	2,630	390	170	730	900	48.4	
香川	61	33	4,950	29	4,180	4,000	3,450	550	180	770	950	81.1	
愛媛	88	28	4,770	31	3,620	3,330	2,900	430	290	1,150	1,450	54.2	
高知	44	38	3,090	39	2,510	2,370	2,090	280	140	580	720	70.2	
福岡	183	16	11,700	18	8,880	8,350	7,190	1,160	540	2,770	3,310	63.9	
佐賀	39	41	2,140	43	1,740	1,650	1,420	220	100	390	490	54.9	
長崎	132	23	6,530	26	5,590	5,260	4,540	730	330	940	1,260	49.5	
熊本	494	4	43,600	3	32,800	30,400	26,300	4,100	2,460	10,800	13,200	88.3	
大分	98	26	12,500	16	8,990	8,010	6,730	1,270	990	3,510	4,500	127.6	
<b>宮崎</b>	<b>209</b>	<b>13</b>	<b>13,600</b>	<b>13</b>	<b>10,300</b>	<b>9,700</b>	<b>8,380</b>	<b>1,320</b>	<b>580</b>	<b>3,280</b>	<b>3,860</b>	<b>65.1</b>	
鹿児島	147	21	13,100	14	10,100	9,340	7,990	1,360	730	3,060	3,790	89.1	
沖縄	65	32	4,040	32	3,400	3,100	2,670	430	300	650	940	62.2	

資料：「農林水産省：畜産統計」



(3) 豚の飼養戸数・頭数（令和4年2月1日現在）

（単位：戸，頭）

全国農業地域 都道府県	飼養戸数			飼養頭数						1戸当たり 飼養頭数	1戸当たり 飼養頭数 (子取り用めす豚)
	飼養戸数	順位	子取り用めす 豚のいる戸数	合計	順位	子取り用 めす豚	種おす豚	肥育豚	その他		
全 国	3,590	-	2,750	8,949,000	-	789,100	30,000	7,515,000	615,400	2,493	287
(全国農業地域)											
北海道	203	-	164	727,800	-	64,700	1,650	612,000	49,400	3,585	395
都府県	3,390	-	2,590	8,221,000	-	724,300	28,300	6,903,000	565,900	2,425	280
東北	435	-	325	1,604,000	-	139,000	3,620	1,334,000	128,000	3,687	428
北陸	121	-	90	208,500	-	17,300	780	171,100	19,400	1,723	192
関東・東山	937	-	720	2,170,000	-	186,900	8,730	1,886,000	88,900	2,316	260
東海	292	-	255	574,800	-	52,200	2,590	505,800	14,300	1,969	205
近畿	53	-	38	44,400	-	2,940	110	40,300	1,060	838	77
中国	73	-	54	314,000	-	26,900	820	275,800	10,500	4,301	498
四国	131	-	106	293,500	-	24,100	1,020	254,300	14,100	2,241	227
九州	1,130	-	836	2,800,000	-	257,700	9,280	2,289,000	243,800	2,478	308
沖縄	219	-	164	211,700	-	17,300	1,400	147,000	45,900	967	106
(都道府県)											
北海道	203	6	164	727,800	3	64,700	1,650	612,000	49,400	3,585	395
青森	60	20	41	358,600	8	28,500	520	308,900	20,600	5,977	695
岩手	86	13	74	491,900	6	44,300	1,090	413,000	33,500	5,720	599
宮城	94	10	79	187,000	16	17,300	810	158,200	10,600	1,989	219
秋田	66	18	40	260,300	12	25,000	470	208,000	26,900	3,944	625
山形	74	16	50	184,900	17	13,400	350	147,100	24,000	2,499	268
福島	55	21	41	121,600	21	10,400	380	98,300	12,500	2,211	254
茨城	264	3	212	420,700	7	35,800	2,750	372,100	10,100	1,594	169
栃木	92	11	76	356,200	9	37,500	1,320	291,300	26,100	3,872	493
群馬	185	7	135	604,800	4	49,900	1,790	541,800	11,300	3,269	370
埼玉	66	18	55	76,200	27	6,740	800	66,900	1,790	1,155	123
千葉	215	5	158	582,500	5	45,700	1,490	501,500	33,800	2,709	289
東京	9	39	4	2,000	45	100	30	1,590	280	222	25
神奈川	41	25	32	60,800	28	4,880	240	54,600	1,060	1,483	153
新潟	92	11	70	166,800	18	13,900	560	137,300	15,100	1,813	199
富山	14	36	8	22,200	37	1,550	120	17,600	2,870	1,586	194
石川	12	38	10	18,200	38	1,710	90	15,000	1,370	1,517	171
福井	3	47	2	1,290	47	x	10	1,110	40	430	x
山梨	14	36	12	10,800	41	1,090	90	9,120	540	771	91
長野	51	22	36	56,000	30	5,150	220	46,700	3,920	1,098	143
岐阜	27	28	22	89,700	23	6,440	170	81,800	1,320	3,322	293
静岡	80	14	68	95,000	22	10,300	1,130	74,200	9,290	1,188	152
愛知	142	9	128	305,500	11	28,500	1,050	275,500	430	2,151	223
三重	43	23	37	84,600	24	6,910	240	74,300	3,210	1,967	187
滋賀	5	44	3	4,390	42	170	10	4,210	-	878	57
京都	9	39	7	13,400	40	960	20	11,900	480	1,489	137
大阪	5	44	2	2,380	44	x	10	2,230	40	476	x
兵庫	19	33	13	18,200	38	1,140	40	16,800	270	958	88
奈良	8	41	7	4,140	43	370	20	3,500	260	518	53
和歌山	7	43	6	1,830	46	200	10	1,610	10	261	33
鳥取	16	34	15	59,500	29	4,760	90	54,200	390	3,719	317
島根	5	44	5	35,500	33	3,680	80	31,800	-	7,100	736
岡山	20	31	11	47,400	31	4,170	350	42,700	140	2,370	379
広島	24	29	17	138,300	19	11,700	220	118,800	7,670	5,763	688
山口	8	41	6	33,300	34	2,590	80	28,300	2,260	4,163	432
徳島	20	31	17	46,500	32	4,070	170	37,700	4,570	2,325	239
香川	22	30	17	30,700	35	2,910	170	25,200	2,470	1,396	171
愛媛	74	16	57	192,000	15	14,700	570	170,600	6,200	2,595	258
高知	15	35	15	24,300	36	2,490	120	20,800	900	1,620	166
福岡	43	23	29	82,000	26	6,610	190	66,200	9,050	1,907	228
佐賀	34	27	30	82,600	25	6,660	250	65,300	10,300	2,429	222
長崎	79	15	69	195,900	14	16,600	540	166,200	12,600	2,480	241
熊本	146	8	121	339,400	10	27,000	970	302,600	8,800	2,325	223
大分	38	26	29	136,900	20	12,300	270	119,700	4,590	3,603	424
宮崎	335	2	248	764,200	2	69,300	1,910	640,100	52,900	2,281	279
鹿児島	452	1	310	1,199,000	1	119,200	5,160	929,400	145,500	2,653	385
沖縄	219	4	164	211,700	13	17,300	1,400	147,000	45,900	967	106

※「X」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの  
「-」：事実のないもの  
「O」：1~4頭を四捨五入したもの

資料：「農林水産省：畜産統計」

(4) 採卵鶏の飼養戸数・羽数（令和4年2月1日現在）

（単位：戸，千羽）

全国農業地域 都道府県	飼養戸数 〔種鶏のみの 飼養者を除く〕	順位	飼養羽数（種鶏を除く）				1戸当たり 成鶏めす 飼養羽数
			合計	順位	ひな (6か月未満)	成鶏めす (6か月以上)	
全 国	1,810	-	180,096	-	42,805	137,291	75.9
（全国農業地域）							
北海道	56	-	6,453	-	1,197	5,256	93.9
都 府 県	1,760	-	173,643	-	41,608	132,035	75.0
東 北	155	-	24,152	-	6,000	18,152	117.1
北 陸	77	-	9,174	-	2,419	6,755	87.7
関 東 ・ 東 山	453	-	49,749	-	11,996	37,753	83.3
東 海	282	-	26,620	-	5,334	21,286	75.5
近 畿	136	-	8,130	-	877	7,253	53.3
中 国	142	-	22,227	-	6,794	15,433	108.7
四 国	117	-	8,676	-	2,944	5,732	49.0
九 州	357	-	23,368	-	4,970	18,398	51.5
沖 縄	38	-	1,547	-	274	1,273	33.5
（都道府県）							
北海道	56	9	6,453	9	1,197	5,256	93.9
青 森	25	26	6,497	8	1,847	4,650	186.0
岩 手	21	31	5,149	17	1,509	3,640	173.3
宮 城	38	21	3,947	20	641	3,306	87.0
秋 田	15	38	2,209	25	194	2,015	134.3
山 形	12	41	468	39	10	458	38.2
福 島	44	15	5,882	13	1,799	4,083	92.8
茨 城	101	4	15,142	1	2,812	12,330	122.1
栃 木	42	17	6,103	12	930	5,173	123.2
群 馬	53	12	8,968	7	3,971	4,997	94.3
埼 玉	61	8	4,294	19	1,686	2,608	42.8
千 葉	103	2	12,837	2	2,362	10,475	101.7
東 京	12	41	76	46	14	62	5.2
神 奈 川	41	19	1,206	31	33	1,173	28.6
新 潟	37	24	6,304	11	2,036	4,268	115.4
富 山	17	35	831	34	95	736	43.3
石 川	11	44	1,268	30	281	987	89.7
福 井	12	41	771	36	7	764	63.7
山 梨	22	30	585	37	101	484	22.0
長 野	18	33	538	38	87	451	25.1
岐 阜	49	14	4,945	18	856	4,089	83.4
静 岡	42	17	5,496	15	1,192	4,304	102.5
愛 知	121	1	9,750	5	2,108	7,642	63.2
三 重	70	5	6,429	10	1,178	5,251	75.0
滋 賀	16	37	255	45	12	243	15.2
京 都	25	26	1,655	28	164	1,491	59.6
大 阪	11	44	42	47	4	38	3.5
兵 庫	41	19	5,571	14	646	4,925	120.1
奈 良	23	29	307	40	39	268	11.7
和 歌 山	20	32	300	41	12	288	14.4
鳥 取	8	47	261	43	7	254	31.8
島 根	15	38	939	33	179	760	50.7
岡 山	62	7	9,323	6	2,772	6,551	105.7
広 島	43	16	9,926	4	3,382	6,544	152.2
山 口	14	40	1,778	27	454	1,324	94.6
徳 島	17	35	831	34	210	621	36.5
香 川	52	13	5,310	16	1,896	3,414	65.7
愛 媛	37	24	2,275	24	813	1,462	39.5
高 知	11	44	260	44	25	235	21.4
福 岡	64	6	3,244	21	407	2,837	44.3
佐 賀	24	28	267	42	37	230	9.6
長 崎	56	9	1,798	26	275	1,523	27.2
熊 本	38	21	2,493	23	368	2,125	55.9
大 分	18	33	1,067	32	153	914	50.8
宮 崎	54	11	2,768	22	680	2,088	38.7
鹿 児 島	103	2	11,731	3	3,050	8,681	84.3
沖 縄	38	21	1,547	29	274	1,273	33.5

※「-」：事実のないもの

資料：「農林水産省：畜産統計」

(5) ブロイラーの飼養・出荷の戸数・羽数（令和4年2月1日現在）

（単位：戸、千羽）

全国農業地域 都道府県	飼養戸数		飼養羽数		出荷戸数		出荷羽数		1戸当たりの 飼養羽数	1戸当たりの 出荷羽数
		順位		順位		順位		順位		
<b>全 国</b>	<b>2,100</b>	<b>-</b>	<b>139,230</b>	<b>-</b>	<b>2,150</b>	<b>-</b>	<b>719,259</b>	<b>-</b>	<b>66.3</b>	<b>334.5</b>
（全国農業地域）										
北海道	9	-	5,180	-	9	-	38,836	-	575.6	4315.1
都 府 県	2,100	-	134,050	-	2,140	-	680,423	-	63.8	318
東 北	431	-	32,668	-	458	-	176,660	-	75.8	385.7
北 陸	11	-	1,239	-	11	-	6,845	-	112.6	622.3
関 東・東 山	128	-	6,031	-	128	-	27,350	-	47.1	213.7
東 海	61	-	3,700	-	62	-	17,516	-	60.7	282.5
近 畿	81	-	3,027	-	81	-	16,485	-	37.4	203.5
中 国	64	-	8,632	-	67	-	47,122	-	134.9	703.3
四 国	212	-	8,042	-	214	-	35,212	-	37.9	164.5
<b>九 州</b>	<b>1,090</b>	<b>-</b>	<b>70,026</b>	<b>-</b>	<b>1,110</b>	<b>-</b>	<b>349,812</b>	<b>-</b>	<b>64.2</b>	<b>315.1</b>
沖 縄	14	-	685	-	14	-	3,421	-	48.9	244.4
（都道府県）										
北 海 道	9	32	5,180	5	9	33	38,836	5	575.6	4315.1
青 森	63	6	8,058	4	63	7	42,496	4	127.9	674.5
岩 手	280	3	21,095	3	307	3	116,490	3	75.3	379.4
宮 城	37	13	1,958	15	37	13	10,789	14	52.9	291.6
秋 田	1	41	x	-	1	41	x	-	x	x
山 形	15	24	x	-	15	24	x	-	x	x
福 島	35	14	841	24	35	14	3,320	27	24.0	94.9
茨 城	40	11	1,435	20	40	11	5,841	19	35.9	146
栃 木	10	29	x	-	10	29	x	-	x	x
群 馬	27	16	1,562	17	27	17	7,512	18	57.9	278.2
埼 玉	1	41	x	-	1	41	x	-	x	x
千 葉	25	18	1,671	16	25	18	8,076	16	66.8	323
東 京	-	-	-	-	-	-	-	-	nc	nc
神 奈 川	-	-	-	-	-	-	-	-	nc	nc
新 潟	9	32	x	-	9	33	x	-	x	x
富 山	-	-	-	-	-	-	-	-	nc	nc
石 川	-	-	-	-	-	-	-	-	nc	nc
福 井	2	38	x	-	2	38	x	-	x	x
山 梨	8	34	351	33	8	35	1,408	33	43.9	176
長 野	17	21	670	29	17	22	2,804	28	39.4	164.9
岐 阜	15	24	1,001	21	15	24	4,138	24	66.7	275.9
静 岡	25	18	996	23	25	18	5,234	22	39.8	209.4
愛 知	11	27	997	22	12	27	5,456	21	90.6	454.7
三 重	10	29	706	27	10	29	2,688	30	70.6	268.8
滋 賀	2	38	x	-	2	38	x	-	x	x
京 都	11	27	593	30	11	28	2,782	29	53.9	252.9
大 阪	-	-	-	-	-	-	-	-	nc	nc
兵 庫	50	9	2,120	14	50	9	12,494	12	42.4	249.9
奈 良	2	38	x	-	2	38	x	-	x	x
和 歌 山	16	23	239	34	16	23	912	34	14.9	57
鳥 取	10	29	3,111	10	10	29	17,481	8	311.1	1748.1
島 根	3	37	396	32	3	37	2,289	31	132.0	763
岡 山	17	21	2,842	11	18	21	16,069	10	167.2	892.7
広 島	8	34	731	26	8	35	3,709	25	91.4	463.6
山 口	26	17	1,552	18	28	16	7,574	17	59.7	270.5
徳 島	146	4	4,254	6	146	4	17,870	7	29.1	122.4
香 川	33	15	2,500	12	33	15	10,886	13	75.8	329.9
愛 媛	25	18	817	25	25	18	4,224	23	32.7	169
高 知	8	34	471	31	10	29	2,232	32	58.9	223.2
福 岡	38	12	1,444	19	38	12	5,761	20	38.0	151.6
佐 賀	63	6	3,637	8	64	6	16,440	9	57.7	256.9
長 崎	50	9	3,117	9	50	9	14,475	11	62.3	289.5
熊 本	67	5	3,848	7	67	5	19,160	6	57.4	286
大 分	51	8	2,291	13	52	8	9,833	15	44.9	189.1
<b>宮 崎</b>	<b>446</b>	<b>1</b>	<b>27,599</b>	<b>2</b>	<b>448</b>	<b>1</b>	<b>139,817</b>	<b>2</b>	<b>61.9</b>	<b>312.1</b>
鹿 児 島	378	2	28,090	1	388	2	144,326	1	74.3	372
沖 縄	14	26	685	28	14	26	3,421	26	48.9	244.4

※「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

資料：「農林水産省：畜産統計」

「-」：事実のないもの

「nc」：計算不能

(6) 宮崎県家畜飼養戸数・頭羽数（令和4年2月1日現在）

（単位：戸、頭、千羽）

年次	肉用牛			乳用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
	飼養戸数	飼養頭数	繁殖雌牛	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養羽数
S60	31,700	213,500	-	1,110	31,100	5,370	586,800	5,710	4,790	735	22,111
H2	24,400	219,000	-	920	29,800	3,510	757,800	5,060	6,020	753	27,409
H7	18,900	248,300	95,100	720	26,800	1,540	760,400	250	6,604	520	18,358
H12	14,300	246,800	92,900	580	23,200	940	791,600	120	4,540	443	16,774
H13	13,400	254,000	96,800	550	22,200	820	835,300	120	4,381	424	16,651
H14	12,500	255,900	94,600	530	21,900	810	854,100	110	4,225	420	17,365
H15	12,100	266,900	99,300	520	21,900	750	849,400	110	4,171	402	17,158
H16	11,600	267,000	97,900	499	21,100	730	863,600	105	4,064	407	17,944
H17	11,200	268,200	98,400	481	20,700	-	-	-	-	403	18,169
H18	10,600	270,900	98,800	465	20,000	662	903,400	84	4,012	394	18,437
H19	10,300	277,800	102,900	434	19,200	650	901,100	83	4,007	385	18,086
H20	10,200	295,400	104,700	400	17,600	645	900,600	87	3,835	383	17,867
H21	10,100	297,900	105,300	374	16,700	623	914,500	83	3,970	384	18,388
H22	9,550	293,200	101,600	353	16,000	-	-	-	-	-	-
H23	8,410	239,700	83,900	331	13,800	466	766,200	70	3,305	-	-
H24	8,200	251,200	79,400	316	15,200	555	885,300	76	3,502	-	-
H25	7,730	250,100	78,800	301	15,500	538	838,300	73	3,698	467	26,277
H26	7,300	250,000	77,000	292	15,100	532	838,800	77	3,900	483	28,188
H27	6,980	249,000	75,800	280	14,500	-	-	-	-	-	-
H28	6,500	243,600	78,800	262	13,800	482	835,400	77	3,832	473	27,438
H29	6,280	243,800	80,600	252	13,700	453	846,700	77	4,108	467	27,684
H30	6,120	245,000	83,200	241	13,600	449	822,200	72	4,253	466	28,424
H31	5,810	250,300	85,700	234	13,700	441	835,700	65	4,451	465	28,236
R2	5,360	244,100	82,900	229	13,600	-	-	-	-	-	-
R3	5,150	250,000	83,800	215	13,600	404	796,900	54	3,816	443	28,012
R4	4,940	254,500	85,200	209	13,600	335	764,200	54	2,768	446	27,599

※「-」：事実のないもの

資料：「農林水産省：畜産統計」

※ 飼養頭数について、令和2年から調査方法が変更になったため、以前の数値とは連動しない。

(7) 市町村別家畜飼養頭羽数

①肉用牛・乳用牛（令和4年2月1日現在）

（単位：戸、頭）

市町村名	肉用牛								乳用牛					
	農場数	合計	肉用種計				乳用種計	交雑種	農場数	合計	経産牛			育成牛
			繁殖牛	育成牛	肥育牛	小計					搾乳牛	乾乳牛		
宮崎市	407	15,600	14,850	7,490	4,900	2,460	750	570	4	470	320	280	40	150
国富町	160	6,710	6,710	3,470	2,160	1,080	—	—	—	—	—	—	—	—
綾町	59	3,310	3,310	1,800	1,190	320	—	—	—	—	—	—	—	—
中部	626	25,620	24,870	12,760	8,250	3,860	750	570	4	470	320	280	40	150
日南市	96	9,100	8,540	2,580	1,740	4,220	560	360	1	×	×	×	×	×
串間市	208	9,770	9,750	4,270	2,200	3,280	20	—	11	630	410	360	50	210
南那珂	304	18,870	18,290	6,850	3,940	7,500	580	360	12	×	×	×	×	×
都城市	1,171	60,410	56,020	20,910	13,130	21,980	4,390	3,370	105	6,970	5,110	4,420	690	1,860
三股町	131	5,860	5,840	1,980	1,160	2,700	20	20	9	270	210	180	30	60
北諸県	1,302	66,270	61,860	22,890	14,290	24,680	4,410	3,390	114	7,240	5,320	4,600	720	1,920
小林市	833	40,700	34,530	11,940	7,750	14,840	6,170	5,910	27	1,130	840	730	110	290
えびの市	321	24,370	18,090	3,410	2,160	12,520	6,280	5,500	10	660	430	360	70	220
高原町	347	12,060	11,990	5,030	3,140	3,820	70	40	8	540	380	340	40	150
西諸県	1,501	77,130	64,610	20,380	13,050	31,180	12,520	11,450	45	2,330	1,650	1,430	220	660
西都市	166	14,360	11,790	3,300	2,320	6,170	2,570	2,470	6	960	600	540	60	340
高鍋町	49	7,290	6,290	1,700	1,400	3,190	1,000	980	2	×	×	×	×	×
新富町	119	10,000	9,140	2,600	1,810	4,730	860	780	6	780	520	440	80	260
西米良村	4	90	90	50	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—
木城町	37	4,010	3,940	1,380	960	1,600	70	60	1	×	×	×	×	×
川南町	135	9,070	6,630	2,810	1,820	2,000	2,440	2,350	12	960	710	590	130	250
都農町	79	3,900	3,900	1,740	1,500	660	—	—	—	—	—	—	—	—
児湯	589	48,720	41,780	13,580	9,850	18,350	6,940	6,640	27	2,860	1,930	1,660	280	910
延岡市	181	4,490	4,190	1,440	1,090	1,660	300	290	2	×	×	×	×	×
日向市	123	1,890	1,890	1,060	640	190	—	—	—	—	—	—	—	—
門川町	13	350	350	210	140	—	—	—	—	—	—	—	—	—
諸塚村	23	340	340	200	140	—	—	—	—	—	—	—	—	—
椎葉村	65	1,210	1,210	590	380	240	—	—	—	—	—	—	—	—
美郷町	71	1,230	1,230	820	400	10	—	—	—	—	—	—	—	—
東臼杵	476	9,510	9,210	4,320	2,790	2,100	300	290	2	×	×	×	×	×
高千穂町	466	6,360	6,360	3,180	1,950	1,230	—	—	—	—	—	—	—	—
日の影町	118	1,210	1,210	730	480	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五ヶ瀬町	76	810	810	510	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西臼杵	660	8,380	8,380	4,420	2,730	1,230	—	—	—	—	—	—	—	—
宮崎県	5,458	254,500	229,000	85,200	54,900	88,900	25,500	22,700	204	13,600	9,700	8,380	1,320	3,860

※「×」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

「—」：事実のないもの

「0」：1～4頭又は千羽を四捨五入したもの

注：四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

資料：「農林水産省：畜産統計」  
「県畜産振興課調」



## ②豚・鶏（令和4年2月1日現在）

（単位：戸、頭、千羽）

市町村名	豚						鶏				
	農場数	合計	子取り用 めす豚	種おす豚	肥育豚	その他	農場数	合計	採卵鶏 (ひな+成鶏めす)	ブロイラー	その他
宮崎市	7	5,690	980	20	4,500	190	43	741	16	548	177
国富町	7	10,280	940	10	8,650	680	12	327	2	295	30
綾町	7	16,010	1,610	30	13,840	530	4	93	—	86	7
中部	21	31,980	3,530	60	26,990	1,400	59	1,161	18	929	214
日南市	15	53,290	5,480	110	44,170	3,530	53	761	—	405	356
串間市	4	2,300	240	20	1,960	80	9	227	—	214	13
南那珂	19	55,590	5,720	130	46,130	3,610	62	988	0	619	369
都城市	147	357,760	31,800	570	303,130	22,260	238	8,856	343	7,787	726
三股町	6	1,510	450	10	730	320	19	471	29	305	137
北諸県	153	359,270	32,250	580	303,860	22,580	257	9,327	372	8,092	863
小林市	61	63,500	4,070	180	56,370	2,880	78	3,641	29	3,194	418
えびの市	36	59,630	4,850	570	46,890	7,320	28	1,352	89	1,063	200
高原町	13	15,770	1,700	20	12,260	1,790	22	807	14	733	60
西諸県	110	138,900	10,620	770	115,520	11,990	128	5,800	132	4,990	678
西都市	7	15,640	2,460	20	11,230	1,930	28	935	—	815	120
高鍋町	7	9,020	1,100	20	7,060	840	29	1,202	254	842	106
新富町	1	×	×	×	×	×	35	1,703	998	274	431
西米良村	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—
木城町	10	14,460	1,370	30	12,260	800	12	521	—	489	32
川南町	48	113,310	10,140	220	94,800	8,150	61	2,856	713	1,750	393
都農町	8	8,560	830	20	7,430	280	48	1,812	—	1,732	80
児湯	81	×	×	×	×	×	213	9,029	1,965	5,902	1,162
延岡市	5	6,200	550	30	5,430	190	31	505	6	423	76
日向市	6	5,530	410	10	4,810	300	120	4,944	274	4,179	491
門川町	2	×	×	×	×	×	35	1,012	1	965	46
諸塚村	—	—	—	—	—	—	2	×	—	—	×
椎葉村	2	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—
美郷町	2	×	×	×	×	×	19	1,080	—	1,022	58
東臼杵	17	13,880	990	50	12,300	540	207	×	281	6,589	×
高千穂町	—	—	—	—	—	—	22	21	—	×	21
日之影町	—	—	—	—	—	—	1	×	—	×	×
五ヶ瀬町	1	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—
西臼杵	1	×	×	×	×	×	23	×	—	478	×
宮崎県	402	764,200	69,300	1,910	640,100	52,900	949	34,352	2,768	27,599	3,985

※「×」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

「—」：事実のないもの

「0」：1～4頭又は千羽を四捨五入したもの

注：四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注：2020年農林業センサス実施年のため、令和2年2月1日現在の豚・鶏のデータなし

資料：「農林水産省：畜産統計」  
「県畜産振興課調」



(9) 市町村別農業産出額（令和3年）

（単位：億円）

市町村名	畜産									耕種	加工農産物	計
	小計	肉用牛	乳用牛		豚	鶏		その他畜産物				
			生乳	探卵鶏		ブロイラー						
宮崎市	70	44	4	4	4	18	6	12	0	239	1	310
国富町	34	22	1	x	9	2	0	x	0	44	0	79
綾町	18	8	0	0	9	0	0	-	0	26	-	44
中部	122	75	6	x	22	20	6	x	0	309	1	432
日南市	63	29	0	x	21	13	1	12	0	60	0	123
串間市	41	30	5	4	x	5	-	5	x	41	1	83
南那珂	104	59	5	x	x	18	1	17	x	100	1	206
都城市	764	215	47	41	282	220	45	175	0	135	2	902
三股町	39	19	2	2	4	14	x	11	-	13	-	51
北諸県	803	234	49	43	285	234	x	186	0	148	2	953
小林市	219	126	13	11	16	63	0	63	2	104	1	324
えびの市	150	70	5	4	38	37	2	34	0	43	0	193
高原町	43	35	4	3	1	4	x	4	0	11	0	54
西諸県	412	230	21	18	54	103	x	101	2	158	1	571
西都市	49	34	2	2	x	12	x	11	x	125	1	175
高鍋町	57	31	-	-	12	14	x	12	-	20	1	77
新富町	59	27	5	5	0	26	20	6	-	42	1	102
西米良村	1	1	-	-	-	-	-	-	0	3	-	3
木城町	39	18	1	x	9	11	x	11	-	11	0	50
川南町	161	21	7	6	93	40	13	27	0	65	1	227
都農町	59	13	-	-	7	39	-	39	-	39	0	99
児湯	425	145	15	x	x	141	x	107	x	305	3	733
延岡市	33	15	1	1	4	14	1	14	0	36	0	69
日向市	252	8	0	0	5	240	13	227	0	23	0	275
門川町	33	1	-	-	x	31	0	31	x	8	0	41
諸塚村	3	2	-	-	-	0	-	x	0	1	0	4
椎葉村	5	5	0	x	0	0	0	-	0	2	0	7
美郷町	28	6	-	-	x	21	-	21	x	16	0	45
東臼杵	354	37	1	x	x	307	13	x	x	86	0	441
高千穂町	48	26	0	0	-	22	0	22	0	16	0	64
日之影町	5	5	-	-	-	0	0	-	-	7	0	13
五ヶ瀬町	4	4	-	-	0	0	0	-	-	8	1	13
西臼杵	57	35	0	0	0	22	0	22	0	32	1	90
宮崎県	2,308	815	98	84	518	875	106	739	3	1,139	32	3,478

※「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

「-」：事実のないもの

注：小数点以下は四捨五入するものとする。

四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

資料：「農林水産省：生産農業所得統計」

# 飼料及び物価高騰等の影響に対する支援 ～令和4年度中の取組～

畜種	事業名		事業内容		予算額【千円】
全畜種 共通	6・11 ・2月 補正	畜産セーフティネット対策緊急強化事業	負担 軽減	配合飼料価格安定制度加入者を対象に、制度に係る生産者積立金相当額の一部を支援 (200円/t)	377,656
	11月 補正	県産肥飼料実需農家利用促進事業	負担 軽減	実需農家の需要に合わせた県産肥飼料の生産・利用に必要な施設・機械の整備を支援(1/2以内)	53,430
採卵鶏	11月 補正	鶏卵生産費高騰緊急対策事業	負担 軽減	鶏卵生産原価の掛かり増し経費の一部を補助(4円/kg)	90,000
酪農	11月 補正	乳用後継牛育成預託支援緊急対策事業	負担 軽減	乳用後継牛の育成預託事業を行う酪農会社に対し、農家負担増の軽減のため、経費増加の一部を補助(1/2以内)	11,025
	R4 当初	みやざき牛乳生産基盤維持・消費回復応援事業	負担 軽減	酪農家が生産性向上を図り、生産基盤維持を実施した場合の取組に対する補助(6千円/頭)	72,000
養豚	R4 当初	肉豚生産基盤強化緊急支援事業	負担 軽減	養豚農家自ら種豚導入等による生産基盤維持の取組を実施した場合、掛かり増し経費を支援 (100万円/農場上限)	100,000

## 台風第14号災害に対する支援

畜種	事業名		事業内容		予算額【千円】
全畜種 共通	11月 補正	畜産経営再開緊急支援事業	負担 軽減	台風14号により被災した畜産農家に対し、経営の復旧に必要な掛かり増し経費を支援(1/2以内)	95,586



# 「おいしさ日本一宮崎牛」 プロモーション



第12回全国和牛能力共進会で獲得した「おいしさ日本一」の称号を活かし、様々なPRをしました。

## ①河野知事への宮崎牛贈呈



## ②大相撲での宮崎牛PR



## ③WBCでの宮崎牛PR



## ④WBC会場での宮崎牛振る舞い



## ⑤宮崎牛のメディア試食会



## ⑥岸田総理への宮崎牛贈呈





## 「甘藷裏作でのエン麦」を 軸にした耕畜連携

輸入飼料が高騰する中、自給飼料を確保するため、甘藷生産グループ、コントラクター組織、畜産農家等と連携し、甘藷裏作のほ場を活用したエン麦を畜産農家へ供給する取組を行いました。

今後も、地域資源（飼料用米、稲わら、堆肥等）の利用拡大を図るため耕畜連携を進めていきます。



## 宮崎ブランドポーク10周年！

平成22年の口蹄疫で途絶した宮崎ハマユウポークに代わり、宮崎を代表する新たな豚肉ブランドとして平成24年に「宮崎ブランドポーク」が誕生しました。

令和4年に10周年を迎えたことを記念して、更なるブランド認知度の向上や消費拡大と、生産者・指定店を応援するため、「宮崎ブランドポークフェスタ」を開催しました。



## たまニコAGAIN2022 ～日本縦断チャリリレー～ 開催！

鶏卵の生産や流通に携わる全国の採卵鶏農家と関連会社が、『たまニコニコ大作戦！たまご2個でみんなニコニコ』（通称たまニコ）のメッセージを携え、自転車に乗ってタスキをつなぎ、各地でたまごの素晴らしさを消費者に伝えるイベントを開催しました。



## 動物検疫キャンペーン実施

畜産関係団体、生産者、動物検疫所、県による水際防疫に関する啓発キャンペーンを宮崎空港で実施しました。

海外からの旅行者に対し、広報用のティッシュやチラシを配布し、肉製品等の持ち込み禁止を呼びかけるなど、家畜伝染病の病原体を国内に持ち込まないための啓発を行いました。



# 平成以降の畜産の動き

平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成11年	平成12年	平成13年	平成16年	平成19年	平成20年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年										
4月	3月	8月	4月	9月	1月	12月	4月	2月	3月	9月	10月	1月	2月	3月	10月	12月	4月	8月	8月	1月	1月	3月	7月	10月	3月	10月	10月
消費税3%導入	宮崎ハマユウポーク普及促進協議会設立	アメリカヘ牛肉輸出開始	豚オースキー病発生	香港へ牛肉輸出開始	阪神大震災発生	「みやざき地鶏」普及促進協議会設立	消費税5%に引上げ	シンガポールへ牛肉輸出開始	宮崎市で口蹄疫発生(国内92年ぶり)	我が国初のBSE発生で全国的に牛肉離れ	「みやざき地鶏」から「みやざき地頭鶏」への名称変更	高病原性鳥インフルエンザ3件約15万7千羽殺処分	「みやざき地頭鶏」ブランド認定	全国和牛能力共進会(鳥取大会)で日本一獲得	みやざき地頭鶏事業協同組合設立	口蹄疫発生(20日) 29万7808頭の牛や豚が犠牲に	口蹄疫終息宣言(27日)	口蹄疫からの再生・復興方針」策定	鳥インフルエンザ13件約101万羽殺処分(3月まで)	新燃岳が約300年ぶりにマグマ噴火	東日本大震災発生	宮崎ハマユウポーク普及促進協議会から	全国和牛能力共進会(長崎大会)で「日本一」連覇	「宮崎ブランドポーク」策定	「宮崎ブランドポーク」ブランド認定	豚流行性下痢(PED) 続発	

平成26年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年																			
4月	12月	4月	8月	12月	3月	9月	9月	12月	2月	4月	12月	2月	2月	8月	10月	1月	2月	2月	8月	12月	5月	8月	9月	10月	11月	11月	
消費税8%に引上げ	鳥インフルエンザ2件約4万6千羽殺処分	熊本地震発生	「宮崎県畜産新生推進プラン」策定	鳥インフルエンザ2件約28万3千羽殺処分(1月まで)	豚オースキー病清浄化	全国和牛能力共進会(宮城大会)で史上初の3大会連続の内閣総理大臣賞受賞	台湾への牛肉輸出開始	宮崎牛GI認証取得	米国アカデミー賞授賞式後のパーティーで「宮崎牛」採用	硫黄山が250年ぶりに噴火	TPPイレブン 発効	日欧EPA 発効	米国アカデミー賞のパーティーで2年連続「宮崎牛」採用	EUへの牛肉輸出開始	消費税10%に引上げ	日米貿易協定発効	国内外で新型コロナウイルスの感染が拡大	米国アカデミー賞のパーティーで3年連続「宮崎牛」採用	口蹄疫終息10年	鳥インフルエンザ12件約92万羽殺処分(2月まで)	畜舎特例法公布	新型コロナウイルス感染拡大	県内の警報レベル4(緊急事態宣言)へと変更	「みやざき畜産共創プラン」策定	4大会連続の内閣総理大臣賞受賞	鳥インフルエンザ3件約41万羽殺処分(2月まで)	「宮崎ブランドポーク」ブランド認定10周年



# 畜舎特例法の対象に保管庫が追加されます

「畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律施行規則」及び「農林水産省関係畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律施行規則」が改正され、令和5年4月1日より新たに保管庫等が畜舎特例法の対象となります。

保管庫等の整備に当たり畜舎特例法を活用することで、**建築コストの削減**や**行政手続の負担軽減**を図ることが可能となります。



## 対象となる畜舎

- **畜舎**※<sup>1</sup>（搾乳施設を含む）又は**堆肥舎**※<sup>2</sup>
- 畜舎又は堆肥舎に付随する※<sup>3</sup> **保管庫（倉庫又は車庫）**
- 畜産経営に必要な**貯水施設**等※<sup>4</sup>
- 高さ8mを超える**発酵槽**等※<sup>2</sup>

※ 市街化区域外・用途地域外の地域に建築

※ 高さ16m以下の平屋で居住のための居室を有さないもの

※ 建築士が設計したもの

※ 新築、増築、改築及び構造に変更を及ぼす行為を行う際に申請可能



※<sup>1</sup> ①ペットの飼育施設、②競走馬・乗用馬の厩舎及び堆肥舎は、畜舎特例法の対象外です。

※<sup>2</sup> 家畜排せつ物の処理又は保管のためのものが対象となります。家畜排せつ物以外の物を処理等するものは畜舎特例法の対象外です。

※<sup>3</sup> 「付随する」とは、畜舎・堆肥舎と①同一敷地内、②隣接する敷地内、③近接する敷地内に建築等するものであって、畜舎・堆肥舎と一体的に利用することをいいます。

※<sup>4</sup> 搾乳施設の洗浄のために使用する水を貯水するための施設、畜舎で使用する井戸水を浄化するための浄化設備を備える施設等がこれに当たります。

## 畜舎特例法のメリット

- **建築確認が不要になります**
- **構造等に関する技術基準が緩和されます**  
利用基準を遵守することにより、構造等に関する技術基準の一部が建築基準法より緩和されます。これにより、建築基準法で建てる畜舎に比べてコストを抑えることができます。
- **一棟あたりの床面積3,000㎡以下は技術基準の審査等が不要になります**  
床面積が3,000㎡以下の畜舎・堆肥舎は、敷地、構造、設備に関する技術基準についての審査が不要となります。
- **木造の畜舎の間を渡り廊下でつなぐことで3,000㎡を超えられるようになります**  
木造の畜舎を渡り廊下で隔て、隔てられた畜舎の床面積をそれぞれ3,000㎡以下とし、その畜舎同士の間畜舎の高さ分の距離を確保し、一定の利用基準※<sup>5</sup>を遵守することで、合計3,000㎡を超えることが可能となります。※<sup>6</sup>
- **周囲の建物との間に6m以上の距離を確保し、一定の利用基準※<sup>7</sup>を遵守することで、建築基準法の防火基準よりも緩和された基準で倉庫や車庫を建てるができます※<sup>8</sup>。**  
(注意) 畜産経営に関係のないものを保管したり、用途変更することはできません。
- **工事完了時は届出で済みます**  
工事完了時は完了検査は不要で、届出のみで済みます。

※<sup>5</sup> 定期的な消火訓練、火を使用する設備等の周辺や渡り廊下に可燃物を存置しないことについて記録を作成し、少なくとも1年間保存する必要があります。

※<sup>6</sup> ただし、渡り廊下でつなぐことで3,000㎡を超える場合には技術基準の審査は必要となります。

※<sup>7</sup> 消火器の設置や施設内での火気使用の禁止、避難経路の十分な採光の確保等の追加の利用基準を遵守する必要があります。

※<sup>8</sup> 床面積3,000㎡以下の倉庫、床面積500㎡以下の車庫に限ります。

農林水産省

## 畜舎特例法の基準

畜舎の構造、防火等に関する**技術基準**と、  
畜舎の利用方法に関する**利用基準**の両方を守る必要があります。

### A 構造畜舎等

技術  
基準

中規模の地震動（震度 5 強程度）に対して、損傷が生じないような構造等の基準

利用  
基準

#### ○ A・B 構造畜舎等共通

- ・ 夜間（夜10時から朝4時）に畜舎内で睡眠しない
- ・ 避難経路の確保
- ・ A 又は B 構造畜舎等であることの表示

### B 構造畜舎等

技術  
基準

中規模の地震動に対して、損傷が生ずる可能性があるが、倒壊しないような構造等の基準

#### ○ B 構造畜舎等のみ

- ・ 下記表の滞在者数・時間以下にする
- ・ 定期的な避難訓練に関する記録保存

面積	延べ滞在時間	最大滞在者数
0㎡～1,000㎡	8 時間・人	4 人
1,000㎡超～2,000㎡	1 6 時間・人	8 人
2,000㎡超～3,000㎡	2 4 時間・人	1 2 人
3,000㎡超～	3 2 時間・人	1 6 人

## 倉庫・車庫の防火基準を緩和する場合

以下の追加の利用基準を遵守する必要があります。

- 床面積が500㎡以内ごとに 1 以上の避難口を特定する
- 災害時の避難に支障を生じさせないよう、必要な採光を行う
- 火気を使用しない
- 消火器を備えるとともに、定期的な点検等により当該消火器の維持管理を適切に行う
- 倉庫には畜産業用物資以外のもの、車庫には畜産業用車両等以外のものを保管しない
- 畜産業用物資及び畜産業用車両を同一の畜舎等に保管する場合は、これらを間仕切壁又は戸によって隔てて保管する

## 畜舎特例法による具体的な手続例



詳しい内容については、建築予定の都道府県の畜産担当課  
又は農林水産省畜産局企画課（03-3502-5992）へお問い合わせください。



畜舎特例法

検索

農林水産省HP「畜舎等の建築等について」もご確認ください！  
[https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/\\_tiku\\_manage/chikusya.html](https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/_tiku_manage/chikusya.html)

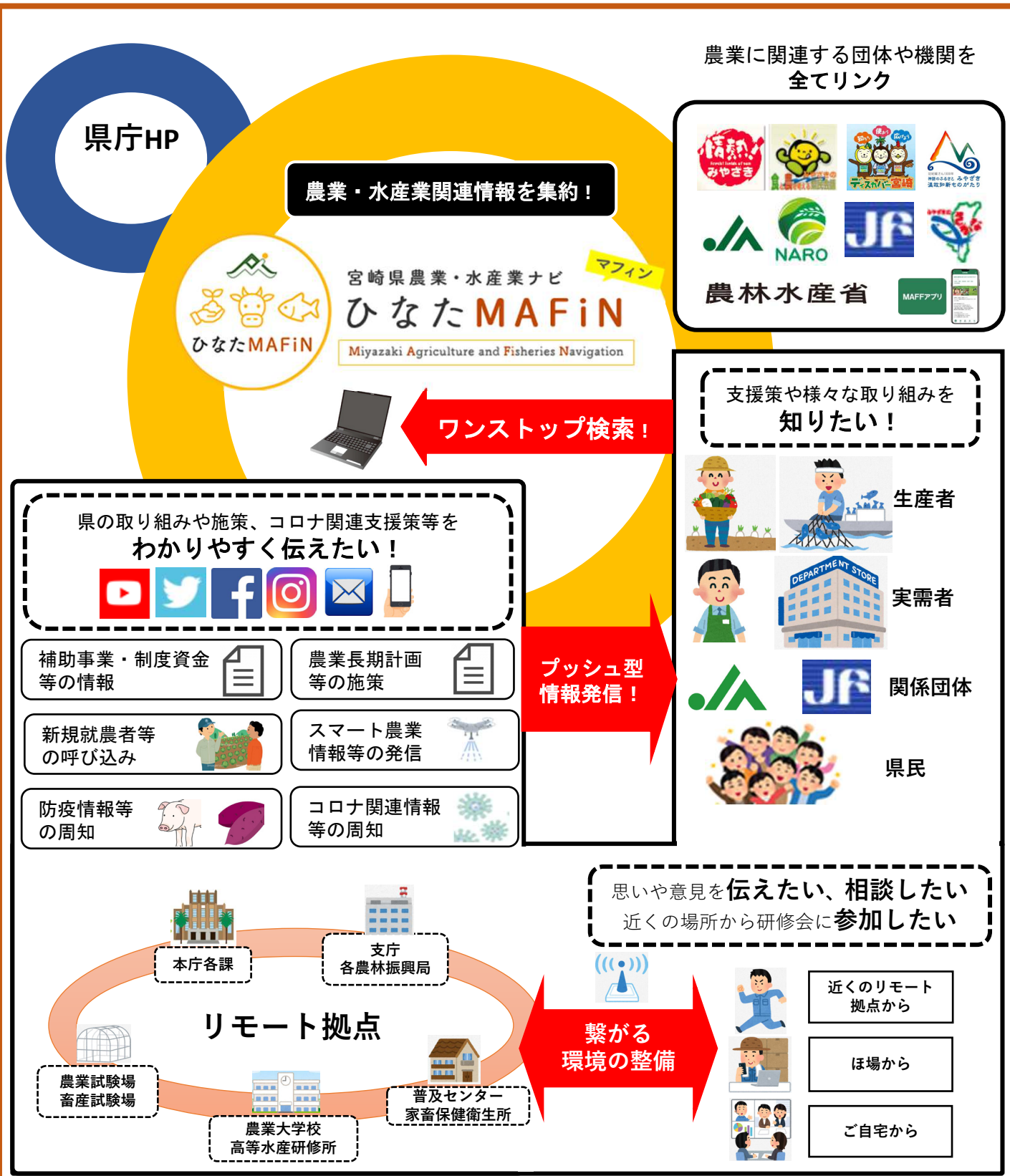
# 宮崎県農業・水産業ナビ～ひなたMAFiN～

○県庁ホームページによる情報提供に加え、農業・水産業関連情報を集約した農政水産部ホームページ（宮崎県農業・水産業ナビ～ひなたMAFiN～）を開設。

**MAFiN**：Miyazaki Agriculture and Fisheries Navigationの略

- 農業・水産業に関する
  - 多様な情報をホームページでわかりやすく提供！
  - タイムリーな情報をSNS等を活用して発信！
  - 農業者、漁業者、県民の皆様の思いや意見を集約！

※農政水産部全ての所属に、リモート会議等に対応できるネットワーク環境を整備。







宮崎県農業・水産業ナビ  
マフィン  
**ひなたMAFiN**  
Miyazaki Agriculture and Fisheries Navigation



農業者、漁業者、県民の皆様の  
「知りたい！ 伝えたい！ 相談したい！」  
にお応えします

農業・水産業に関する

- 多様な情報をホームページでわかりやすく提供！
- タイムリーな情報をSNS等を活用して発信！
- 皆様の思いや意見を集約！



役立つ情報  
大切な情報  
欲しい情報

届けます！



県農業・水産業  
長期計画等の施策



補助事業・制度資金  
等の情報



新規就農・就業  
に向けた支援策



新型コロナ関連  
情報等



スマート農業等  
生産現場の取組



家畜・植物防疫  
等の情報



ひなたマフィン

検索



メールマガジン



ひなたMAFiN



SNS

- スマートフォンのバーコードリーダーを起動して下さい。(起動方法は機種によって異なります)
- QRコードを読み取ると、各サイトのURLが表示されますので、クリックすることで各サイトにアクセスできます。

写真提供の御協力：NOSAI宮崎

宮崎県農政水産部



「“おいしさ日本一” 宮崎牛」ロゴマーク



「宮崎ブランドポーク」ロゴマーク



「みやざき地頭鶏」認証マーク



「宮崎産牛乳」ロゴマーク

## 宮崎の畜産

2023年版

令和5年3月発行

編集発行 宮崎県農政水産部畜産局

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号

TEL (0985) 26-7140

FAX (0985) 27-3030

